

Aterm® BR1500H

PA-BR1500H

取扱説明書

お使いになる前に

1

本商品に接続しよう

2

インターネット接続の
設定をしよう

3

本商品を活用しよう

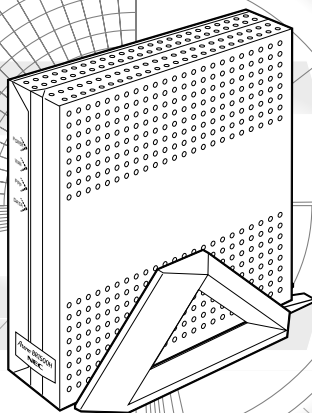
4

お困りのときには

5

付録

6



「ソフトウェアのご使用条件」は、前文-3
ページに記載されています。添付CD-
ROMを開封する前に必ずお読みください。

マニュアル構成

本商品のマニュアルは下記のように構成されています。ご利用の目的に合わせてお読みください。



取扱説明書(本書)

本商品の基本機能についての説明書です。



機能詳細ガイド(CD-ROM:HTMLファイル)

本書には記載されていない、本商品のより詳細な機能について解説しています。



用語解説(CD-ROM:HTMLファイル)

本書で使われている用語や、本商品を活用するために知っておきたい用語の解説を五十音順で検索することができます。



お困りのときには(CD-ROM:HTMLファイル)

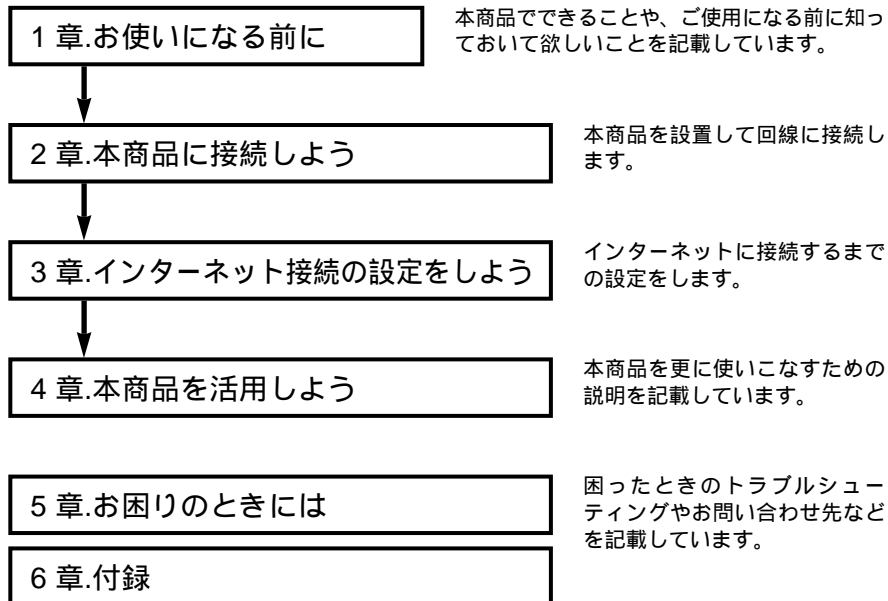
本商品の利用中にトラブルが起きたときの対処法について書かれています。

CD-ROMの操作方法について(「電子マニュアルの見かた」P前文-15)

クイック設定WebはInternet Explorer 4.0以降(推奨5.5以降)、Netscape Communicator 4.0以降(推奨6.1以降)、Net Front for Δが動作可能な装置から利用することができます。

本書の見かた

必要に応じて、以下の順番でお読みください。



お知らせ

本書に書かれていないデータ通信機能の詳細や、「用語解説」「お困りのときには」は添付CD-ROMをご覧ください。（「電子マニュアルの見かた」P 前文-15）

はじめに

この度は Aterm BR1500H をお買い上げいただきまことにありがとうございます。

Aterm BR1500H は、FTTH 回線終端装置 / ADSL モデム / CATV ケーブルモデムを接続してブロードバンド網 (FTTH 回線 / ADSL 回線 / CATV 回線) でインターネット接続がご利用になれるブロードバンドルータです。

本書では本商品の設置・接続のしかたから、さまざまな機能における操作・設定方法、困ったときの対処方法まで、本商品を使いこなすために必要な事項を説明しています。本商品をご使用前に、本書を必ずお読みください。また、本書は読んだあと大切に保管してください。

Windows® は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Mac ロゴ、Macintosh は、米国 Apple Computer, Inc. の登録商標です。

iMac、Power Macintosh G3 は、米国 Apple Computer, Inc. の登録商標です。

Netscape Communicator は米国 Netscape Communications Corporation の登録商標です。

“Play Station®” は株式会社ソニー・コンピュータ・エンタテインメントの登録商標です。

その他、各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

© NEC Corporation 2002、© NEC AccessTechnica, Ltd. 2002

日本電気株式会社および NEC アクセステクニカ株式会社の許可なくソフトウェア、および取扱説明書の全部または一部を複製・改版、および複製物を配布することはできません。

ソフトウェアのご使用条件

お客様へのお願い

添付の CD-ROM を開封される前に必ずお読みください。

このたびは、弊社 Aterm シリーズをお求め頂きありがとうございます。
本製品に添付の CD-ROM には、弊社が提供する各種ユーティリティやドライバソフトウェアが含まれています。弊社が提供するソフトウェアのお客さまによるご使用およびお客様へのアフターサービスについては、下記の「NEC・NEC アクセステクニカが提供するソフトウェアのご使用条件」にご同意いただく必要がございます。

ご同意を頂けない場合は添付の CD-ROM を開封せずに、お求めになった取扱店に CD-ROM を含めた本商品一式をご返却くだされば、実際に支払われた本商品の代金をお返します。添付の CD-ROM を開封された場合はご同意をいただけたものと致します。

NEC・NEC アクセステクニカが提供するソフトウェアのご使用条件

日本電気株式会社・NEC アクセステクニカ（以下「弊社」とします。）は、本使用条件とともに提供するソフトウェア製品（以下「許諾プログラム」とします。）の日本国内で使用する権利を、下記条項に基づきお客様に許諾し、お客様も下記条項にご同意いただくものとし、なお、お客様が期待された効果を得るための許諾プログラムの選択、許諾プログラムの導入、使用および使用効果につきましては、お客様の責任とさせていただきます。

1. 期間

- (1) 本ソフトウェアの使用条件は、お客様が添付 CD-ROM を開封されたときに発効します。
- (2) お客様は 1 ヶ月以上事前に、弊社宛に書面により通知することにより、いつでも本使用条件により許諾される許諾プログラムの使用権を終了させることができます。
- (3) 弊社は、お客様が本使用条件のいずれかの条項に違反されたときは、いつでも許諾プログラムの使用権を終了させることができます。
- (4) 許諾プログラムの使用権は、上記(2)または(3)により終了するまで有効に存続します。
- (5) 許諾プログラムの使用権が終了した場合には、本使用条件にもとづくお客様のその他の権利も同時に終了するものとし、お客様は、許諾プログラムの使用権の終了後、直ちに許諾プログラムおよびその全ての複製物を破棄するものとし、

2. 使用権

- (1) お客様は、許諾プログラムを一時に 1 台のコンピュータにおいてのみインストールし、使用することができます。ただし、複数のコンピュータ接続ポートを持つ Aterm シリーズに同数のコンピュータを一時に接続してご使用になるお客様は、その接続ポート数までを限度としてコンピュータにインストールし、使用することができます。
- (2) お客様は、前項に定める条件に従い、日本国内においてのみ許諾プログラムを使用することができます。

3. 許諾プログラムの複製、改変、および結合

- (1) お客様は、滅失、毀損等に備える目的のみ、許諾プログラムを一部に限り複製することができます。

(2) お客様は、許諾プログラムの全ての複製物に許諾プログラムに付されている著作権表示およびその他の権利表示を付するものとします。

(3) 本使用条件は、許諾プログラムに関する無体財産権をお客様に移転するものではありません。

4. 許諾プログラムの移転等

(1) お客様は、賃貸借、リースその他いかなる方法によっても許諾プログラムの使用を第三者に許諾してはなりません。ただし、第三者が本使用条件に従うこと、ならびにお客様が保有する Aterm シリーズ、許諾プログラムおよびその他関連資料を全て引き渡すことを条件に、お客様は、許諾プログラムの使用権を当該第三者に移転することができます。

(2) お客様は、本使用条件で明示されている場合を除き許諾プログラムの使用、複製、改変、結合またはその他の処分をすることはできません。

5. 逆コンパイル等

(1) お客様は、許諾プログラムをリバースエンジニア、逆コンパイルまたは逆アセンブルすることはできません。

6. 保証の制限

(1) 弊社は、許諾プログラムに関していかなる保証も行いません。許諾プログラムに関し発生する問題は、お客様の責任および費用負担をもって処理されるものとします。

(2) 前項の規定に関らず、お客様による本商品のご購入の日から 1 年以内に弊社が許諾プログラムの誤り（バグ）を修正したときは、弊社は、かかる誤りを修正したプログラムもしくは修正のためのプログラム（以下「修正プログラム」といいます。）または、かかる修正に関する情報をお客様に提供するものとします。ただし、当該修正プログラムまたは情報をアフターサービスとして提供する決定を弊社がその裁量により為した場合に限りです。お客様に提供された修正プログラムは許諾プログラムと見なします。弊社では、弊社がその裁量により提供を決定した機能拡張のためのプログラムを提供する場合があります。このプログラムも許諾プログラムと見なします。

(3) 許諾プログラムの記録媒体に物理的欠陥（ただし、許諾プログラムの使用に支障をきたすものに限ります。）があった場合において、お客様が許諾プログラムをお受け取りになった日から 14 日以内にかかる日付を記した領収書（もしくはその写し）を添えて、お求めになった取扱店に許諾プログラムを返却されたときには弊社は当該記憶媒体を無償で交換するものとし（ただし、弊社が当該欠陥を自己の責によるものと認めた場合に限りです。）これをもって記録媒体に関する唯一の保証とします。

7. 責任の制限

(1) 弊社はいかなる場合もお客様の逸失利益、特別な事情から生じた損害（損害発生につき弊社が予見し、また予見し得た場合を含みます。）および第三者からお客様に対してなされた損害賠償請求に基づく損害について一切責任を負いません。また弊社が損害賠償責任を負う場合には、弊社の損害賠償責任はその法律上の構成の如何を問わずお客様が実際にお支払いになった Aterm シリーズの代金額をもってその上限とします。

8. その他

(1) お客様は、いかなる方法によっても許諾プログラムおよびその複製物を日本国から輸出してはなりません。





(2) 本契約に関わる紛争は、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所として解決するものとします。

以上




安全に正しくお使いいただくために

安全に正しくお使いいただくための表示について

本書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全に正しくお使いいただくために守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。

-  **危険** : 人が死亡する、または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
-  **警告** : 人が死亡する、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
-  **注意** : 人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
-  **お願い** : 本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。

絵表示の例

-  △記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。記号の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
-  ⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。記号の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
-  ●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。記号の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

警告

設置場所

風呂、シャワー室への設置禁止
風呂場やシャワー室などでは使用しないでください。漏電して、火災・感電の原因となります。



水のかかる場所への設置禁止
水のかかる場所で使用したり、水にぬらすなどして使用しないでください。漏電して、火災・感電の原因となります。



電源

商用電源以外の使用禁止
AC100Vの家庭用電源以外では絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。
差し込み口が2つ以上ある壁の電源コンセントに他の電気製品のACアダプタ（電源プラグ）を差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災・感電の原因となります。



電源コードの取り扱い注意
電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷んだら、ご購入店またはNEC保守サービス受付拠点に修理をご依頼ください。



ぬれた手での操作禁止
ぬれた手でACアダプタ（電源プラグ）を抜き差ししないでください。感電の原因となります。



たこ足配線の禁止
本商品の電源コードは、たこ足配線にしないでください。たこ足配線にするとテーブルタップなどが過熱・劣化し、火災の原因となります。



警告

こんなときは

発煙した場合

万一、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体の電源スイッチを切り、ACアダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから、ご購入店または NEC 保守サービス受付拠点に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。



水が装置内部に入った場合

万一、内部に水などがいった場合は、すぐに本体の電源スイッチを切り、ACアダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜いて、ご購入店または NEC 保守サービス受付拠点にご連絡ください。そのまま使用すると漏電して、火災・感電の原因となります。



異物が装置内部に入った場合

本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに本体の電源スイッチを切り、ACアダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜いて、ご購入店または NEC 保守サービス受付拠点にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



電源コードが傷んだ場合

電源コードが傷んだ（芯線の露出・断線など）状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体の電源スイッチを切り、ACアダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜いて、ご購入店または NEC 保守サービス受付拠点に修理をご依頼ください。



破損した場合

万一、落としたり破損した場合は、すぐに本体の電源スイッチを切り、ACアダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜いて、ご購入店または NEC 保守サービス受付拠点に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。



警告

禁止事項

本商品は家庭用のOA機器として設計されております。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム（幹線通信機器や電算機システムなど）では使用しないでください。



分解・改造の禁止

本商品を分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。



ぬらすことの禁止

本商品に水が入ったりしないよう、また、ぬらさないようにご注意ください。漏電して火災・感電の原因となります。



ぬれた手での操作禁止

ぬれた手で本商品を操作したり、接続したりしないでください。感電の原因となります。



その他のご注意

異物を入れないための注意

本商品の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



注意

設置場所

火気のそばへの設置禁止

本商品や電源コードを熱器具に近づけないでください。ケースや電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



湿度の高い場所への設置禁止

直射日光の当たるところや、温度の高いところ、発熱する装置のそばに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。



油飛びや湯気の当たる場所への設置禁止

調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



不安定な場所への設置禁止

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。



通風孔をふさぐことの禁止

本商品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使いかたはしないでください。



- ・横向きに寝かせる
- ・収納棚や本棚などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
- ・じゅうたんや布団の上に置く
- ・テーブルクロスなどを掛ける

横置き・重ね置きの禁止

本商品を横置きや重ね置きしないでください。横置きや重ね置きすると内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。必ず添付の縦置きスタンドを使用して縦置きでご利用ください。また、本商品を壁などに近づけないでください。



温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に置かないでください。本商品の内部に結露が発生し、火災・感電の原因となります。



風通しの悪い場所への設置禁止

本商品を風通しの悪い場所に置かないでください。風通しの悪い場所に設置すると本商品内部に熱がこもり、故障の原因となることがあります。



注 意

電源

プラグの取扱注意

ACアダプタ（電源プラグ）はコンセントに確実に差し込んでください。抜くときは、必ずACアダプタを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



移動させるときの注意

移動させる場合は、本体の電源スイッチを切ったあと、ACアダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜き、外部の接続線ははずしたことを確認の上、行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



アース線の取付

万一、漏電した場合の感電事故防止のため、必ずアース線を取り付けてください。



長期不在時の注意

長期間ご使用にならないときは、安全のため必ずACアダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜いてください。



ACアダプタ（電源プラグ）の清掃

ACアダプタ（電源プラグ）とコンセントの間のほこりは、定期的（半年に1回程度）に取り除いてください。火災の原因となることがあります。



禁止事項

乗ることの禁止

本商品に乗らないでください。特に、小さなお子さまのいるご家庭ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。



その他のご注意

雷のときの注意

雷が鳴りだしたら、電源コードに触れたり周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷による感電の原因となります。



取扱説明書に従って接続してください。

間違えると接続機器が故障することがあります。



STOP お願い

設置場所

本商品を安全に正しくお使いいただくために、次のような所への設置は避けてください。

- ・ほこりや振動が多い場所
- ・気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
- ・ラジオやテレビなどのすぐそばや、強い磁界を発生する装置が近くにある場合
- ・高周波雑音を発生する高周波ミシン、電気溶接機などが近くにある場所

本商品をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合があります。

禁止事項

動作中に接続コード類がはずれたり、接続が不安定になると誤動作の原因となります。動作中は、コネクタの接続部には絶対に触れないでください。

本商品の電源を切ったあと、すぐに再び電源を入れしないでください。5秒以上の間隔をあけてから電源を入れてください。

日ごろのお手入れ

汚れたら、乾いた柔らかい布でふきとってください。汚れのひどいときは、中性洗剤を含ませた布でふいたあと、乾いた布でふきとってください。化学ぞうきんの使用は避けてください。ベンジン、シンナーなどの有機溶剤、アルコールは絶対に使用しないでください。変形や変色の原因となることがあります。

目次

本書の見かた	前文-1
はじめに	前文-2
ソフトウェアのご使用条件	前文-3
安全に正しくお使いいただくために	前文-5
目次	前文-12
「機能詳細ガイド」目次	前文-14
電子マニュアルの見かた	前文-15

1 章 お使いになる前に

1-1 本商品でできること	1-2
1-2 箱の中身を確認しよう	1-3
1-3 各部の名前とはたらき	1-4
1-4 あらかじめ確認してください	1-5
回線契約とプロバイダの加入について	1-5
パソコンの準備	1-6

2 章 本商品に接続しよう

2-1 設置する	2-2
本商品の置き場所を決めよう	2-2
縦置きスタンドを取り付ける	2-2
2-2 電源を接続する	2-3
2-3 回線を接続する	2-4
FTTH 回線終端装置 / 外付け ADSL モデム / CATV ケーブルモデムに接続する	2-4
2-4 パソコンを接続する	2-6

3 章 インターネット接続の設定をしよう

3-1 本商品の設定をする	3-2
セットアップの流れ	3-2
クイック設定 Web で本商品の設定をする	3-3
3-2 インターネットに接続する	3-8

4 章 本商品を活用しよう

4-1 本商品で利用できる機能	4-2
4-2 セキュリティ対策をする	4-5
セキュリティ機能について	4-5

4-3	ネットワーク対応アプリケーション（ネットワークゲームなど）を利用する	4-6
	クイック設定 Web でポートマッピングの設定をする	4-6
	PPPoE ブリッジ機能	4-7
4-4	TV 電話をする（Windows Messenger を利用する）	4-8
4-5	バージョンアップする	4-9
5 章	お困りのときには	
5-1	トラブルシューティング	5-2
	設置に関するトラブル	5-2
	ご利用開始後のトラブル	5-9
5-2	本商品を初期化する	5-11
	クイック設定 Web で初期化する	5-11
	イニシャルスイッチで初期化する	5-11
6 章	付録	
6-1	製品仕様	6-2
	BR1500H 仕様	6-2
	BR1500H の ETHERNET ポートインタフェース	6-3
6-2	お問い合わせ・アフターサービス	6-4
	ホームページ「Aterm Station」	6-4
	インフォメーションサービス	6-4
	PC クリーンスポットの訪問サポート	6-5
	修理について	6-6
	持ち込み修理先一覧	6-7
6-3	用語解説	6-12
6-4	索引	6-14

「機能詳細ガイド」目次

添付 CD-ROM「ユーティリティ集」には本商品の詳細な機能について説明した「機能詳細ガイド」が HTML ファイルで収録されています。ここではその概要を示します。電子マニュアルの見かたについては、P 前文-15 を参照してください。

LAN 機能

機能一覧

ルータ機能

ブロードバンドルータ機能

アドバンスド NAT (IP マスカレード)

アドバンスド NAT オプション (ポートマッピング)

IP パケットフィルタリング

ダイナミックポートコントロール機能

DHCP サーバ機能

DHCP クライアント機能

DNS フォワーディング

不正アクセス検出機能

アクセスログ機能

UPnP 機能

WAN 側機能

PPPoE ブリッジ

固定 IP サービス対応 (複数アドレス拡張)

無通信監視タイマ

シングルユーザアクセスモード

パソコンインタフェース

100BASE-TX 対応スイッチング HUB (4 ポート)

その他の機能

管理者パスワードの設定

日時の設定

情報表示 (装置情報、状態表示)

ファイルとプリンタの共有
(Windows®)

Web 設定画面での設定方法 (クイック設定 Web)

起動のしかた

メニュー画面

登録のしかた

基本設定

WAN 側自動接続設定

LAN 側設定

DHCP エントリ設定

パケットフィルタ設定

ポートマッピング

高度な設定

管理者パスワードの変更

時刻設定

設定値の保存と復元

設定値の初期化

ファームウェア更新

現在の状態

通信情報ログ

UPnP の状態

「機能詳細ガイド」にある [ガイド] アイコンをクリックすると、本商品でご利用になれる機能をご覧いただけます。ご参照ください。

電子マニュアルの見かた

「機能詳細ガイド」や、「用語解説」、「お困りのときには」は、添付 CD-ROM の電子マニュアルをご覧ください。

1 パソコンを起動し、添付の CD-ROM (ユーティリティ集) を CD-ROM ドライブにセットする

2 CD-ROM のフォルダの [Manual] をダブルクリックする

3 読みたいファイルを開く
「機能詳細ガイド」、「お困りのときは」、「用語解説」は、それぞれのフォルダ内の [index.html] をダブルクリックしてください。



お知らせ

「用語解説」または「機能詳細ガイド」、「お困りのときには」をご覧になるには、WWWブラウザがインストールされている必要があります。



1

お使いになる前に



1

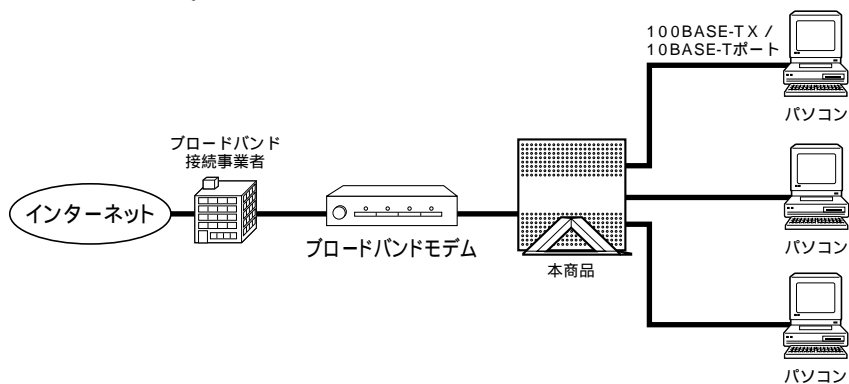
最初に必ずこの章の内容をご確認ください。

1-1	本商品でできること	1-2
1-2	箱の中身を確認しよう	1-3
1-3	各部の名前とはたらき	1-4
1-4	あらかじめ確認してください	1-5

- Windows® XP は、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および Microsoft® Windows® XP Professional operating system の略です。
- Windows® Me は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system の略です。
- Windows® 2000 は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system の略です。
- Windows® 98 は、Microsoft® Windows® 98 operating system の略です。

1-1 本商品でできること

本商品は、FTTH 回線終端装置 / 外付け ADSL モデム / CATV ケーブルモデムを接続してブロードバンド (FTTH/ADSL/CATV 網) インターネットを利用できるブロードバンドルータです。



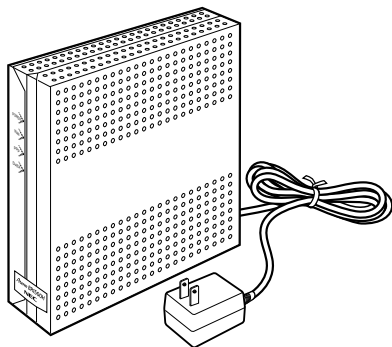
- ・ 接続できるブロードバンド接続事業者は、ホームページ Aterm Station にて順次ご案内いたしますので、事前にご確認ください。
- ・ 接続事業者によっては、本商品のようなルータ機能を持つ装置の接続を制限している場合があります。ご利用にあたっては、あらかじめ接続事業者にご確認ください。
- ・ 本商品で利用できるその他の機能については、「4-1 本商品で利用できる機能」(P4-2) を参照してください。

1-2 箱の中身を確認しよう

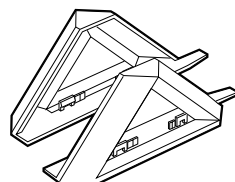
設置を始める前に、構成部品がすべてそろっていることを確認してください。不足しているものがある場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

構成部品

Aterm BR1500H 本体



縦置きスタンド

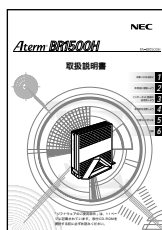


ETHERNET ケーブル
(ストレート)

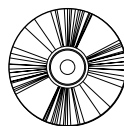


複数台のパソコンを接続する場合は市販のETHERNETケーブル(ストレート)をご購入ください。

取扱説明書(本書)



CD-ROM



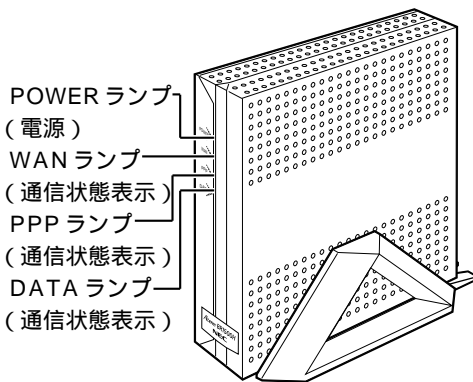
保証書

1

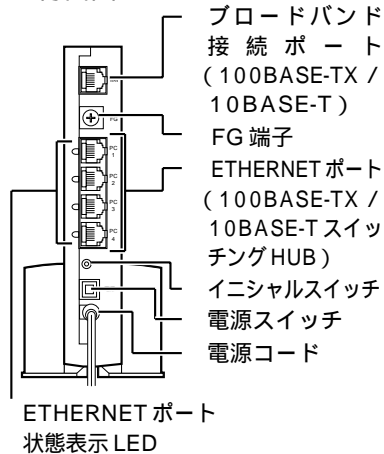
お使いになる前に

1-3 各部の名前とはたらき

前面図



背面図



【ランプ表示】

ランプの種類	ランプのつきかた(色)	本商品の状態
POWER ランプ (電源)	緑 (点灯)	電源が入っているとき
	橙 (点灯)	ファームウェアをバージョンアップしているとき
	赤 (点滅)	バージョンアップが失敗したとき
WAN ランプ (通信状態表示)	緑 (点灯)	ブロードバンド接続ポートにブロードバンド(ADSL / CATV ケーブルなど)モデムが接続され、リンクが確立されているとき
	緑 (点滅)	ブロードバンドモデムとデータを送受信中
PPP ランプ (通信状態表示)	(点灯)	本商品の動作モードが PPPoE モードの場合に PPP リンクが確立しているとき
	(遅い点滅)	本商品の動作モードが PPPoE モードの場合に PPP の認証が失敗したとき(1秒間隔) (P5-6)
	(速い点滅)	本商品の動作モードが PPPoE モードの場合に相手先から応答がないとき
DATA ランプ (通信状態表示)	緑 (点滅)	ETHERNET で接続されたパソコンでデータ送受信中

このままではご利用になれません。お近くの NEC 保守サービス受付拠点へご連絡ください。修理はすべて持ち込み修理となります。

【コネクタ等】

名称	表示	機能の説明
ブロードバンド接続ポート	WAN	ブロードバンドモデムとの接続に使用します。(100BASE-TX / 10BASE-T)
FG 端子	FG	アース線を取り付ける端子です(アース線は添付されていません)。
ETHERNET ポート	PC1 ~ PC4	パソコンまたはハブを接続します。(100BASE-TX / 10BASE-T スwitching HUB)
イニシャルスイッチ	なし	工場出荷時の設定値で起動するためのスイッチです。
電源スイッチ	電源	電源の入 / 切用のプッシュスイッチです。
電源コード	なし	AC100V の家庭用電源コンセントに接続します。
ETHERNET ポート状態表示 LED	なし	パソコンまたはハブが接続され、リンクが確立しているときに点灯します。

1-4 あらかじめ確認してください

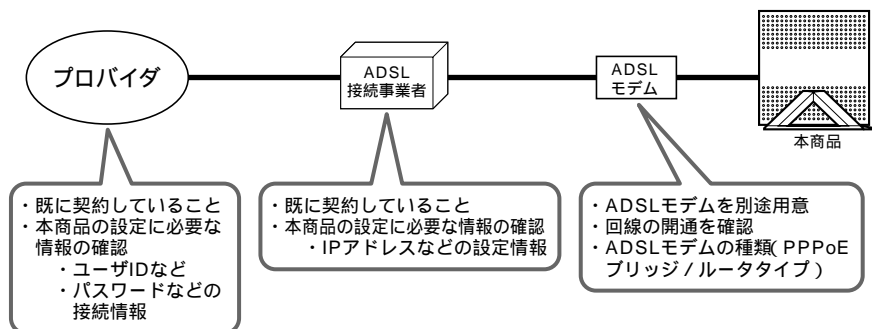
本商品を接続する前に次のことを確認しておきましょう。

回線契約とプロバイダの加入について

ADSL 接続の場合

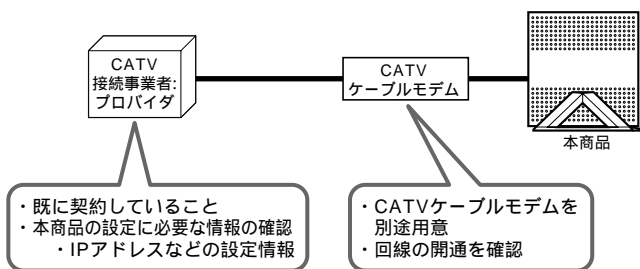
ADSL 接続をご利用になる場合は、あらかじめ、ADSL 接続事業者およびプロバイダとの契約を済ませ、回線が開通していることを確認してください。

ADSL 接続事業者によっては、プロバイダ契約が不要な場合があります。



CATV (ケーブルテレビ) インターネット接続の場合

CATV インターネット接続をご利用になる場合は、あらかじめ CATV インターネット接続事業者との契約を済ませ、回線が開通していることを確認してください。



FTTH 接続の場合

FTTH サービスをご利用になる場合は、あらかじめ FTTH サービスの契約とプロバイダの契約を済ませておいてください。

また、回線終端装置は別途ご用意ください。

接続できるサービスについては、ホームページ Aterm Station の「接続確認済ロードバンド事業者リスト」でご確認ください。

1

お使いになる前に

パソコンの準備

お使いのパソコンが本商品をご利用になれる環境になっているか確認してください。本商品は以下の条件を満たす機器を接続することができます。

ETHERNET ポートを装備していること

TCP/IP プロトコルスタックに対応していること

お使いのパソコンにプロキシの設定がされている場合や、ファイヤウォール、ウィルスチェック等のソフトがインストールされている場合に、本商品の設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります。ファイヤウォールなどの働きによって、本商品との通信に必要なポートが止められている可能性があるためです。本商品設定の際には、ファイヤウォール、プロキシ、ウィルスチェック等のソフトをいったん停止してください。

次のうちいずれかの WWW ブラウザがインストールされていること

本商品の設定は WWW ブラウザで行います。利用できる WWW ブラウザは次のとおりです。

- ・ Internet Explorer 4.0 以上（推奨 5.5 以上）
- ・ Netscape Communicator 4.0 以上（推奨 6.1 以上）
- ・ Net Front for （株式会社 ACCESS）“Play Station[®]2”対応 WWW ブラウザ

パソコンを LAN 対応にする

LAN ポートの準備

パソコンに LAN ポート（100BASE-TX / 10BASE-T ポート）が必要です。お使いのパソコンに LAN ポートがない場合は、本商品の設置を始める前に、100BASE-TX / 10BASE-T 対応の LAN ボードまたは LAN カードを取り付けておいてください。



お知らせ

OS のアップグレードなどパソコンの動作環境を変更される場合は、あらかじめホームページ Aterm Station から本商品の最新のファームウェア、マニュアルなどをダウンロードしてください。

パソコンのネットワークの設定

パソコンを購入したままの状態でお使いの場合は必要ありません。

パソコンのネットワークの設定がWindows® の場合は、「IPアドレスを自動的に取得する」、Macintoshの場合は、「DHCPサーバを参照」になっていることを確認してください。(ただしお使いのOSによっては「TCP/IP」がインストールされていない場合があります。その場合は、パソコンの取扱説明書等に従ってインストールしてください。)

Windows® をご利用の場合 ➡ P1-7 ~ P1-9

Macintosh をご利用の場合 ➡ P1-10

Windows® をご利用の場合

< Windows® XP をご利用の場合 >

以下は、あらかじめダイヤルアップアイコンが登録されている場合の例です。

Windows® XP の設定により表示内容が異なる場合があります。

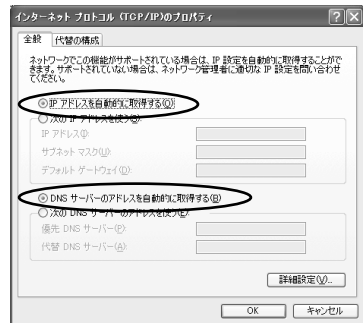
1 [スタート] から [コントロールパネル] を選択する

2 [ネットワークとインターネット接続] をクリックし、[ネットワーク接続] をクリックする

3 [ローカルエリア接続] を右クリックし、[プロパティ] をクリックする

4 [全般] タブをクリックし、[インターネットプロトコル (TCP/IP)] を選択し、[プロパティ] をクリックする

5 [IPアドレスを自動的に取得する] と [DNSサーバのアドレスを自動的に取得する] を選択する



6 [OK] をクリックする

7 [OK] をクリックする

1

お
使
い
に
な
る
前
に



お知らせ

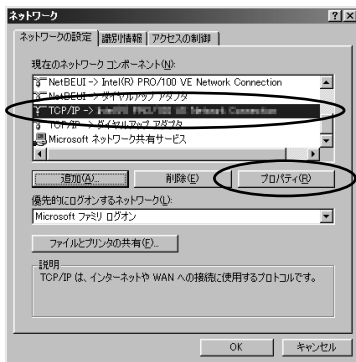
本書では、Windows® XP の通常表示モード (カテゴリー表示モード) を前提に記述しています。

< Windows® Me/98 をご利用の場合 >

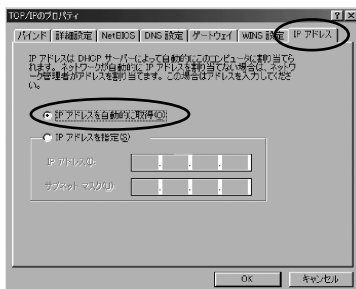
1 [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] を選択する

2 [ネットワーク] アイコンをダブルクリックする

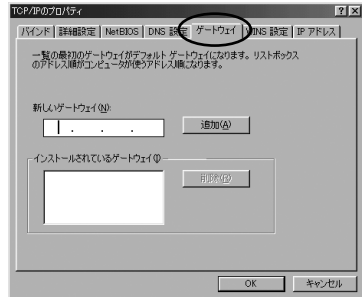
3 リストの [TCP/IP->お使いの LAN カード (またはお使いの LAN ボード)] を選択し、[プロパティ] をクリックする



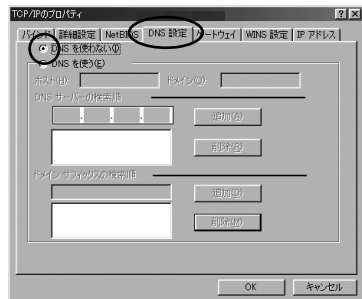
4 [IP アドレス] タブをクリックし、[IP アドレスを自動的に取得] を選択する



5 [ゲートウェイ] タブをクリックし、何も指定されていないことを確認する



6 [DNS 設定] タブをクリックし、[DNS を使わない] を選択する

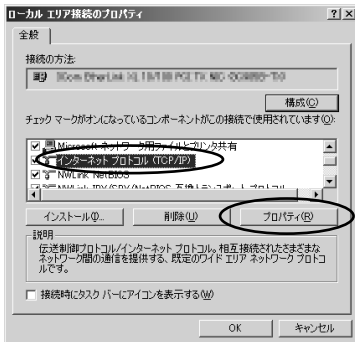


7 [OK] をクリックする

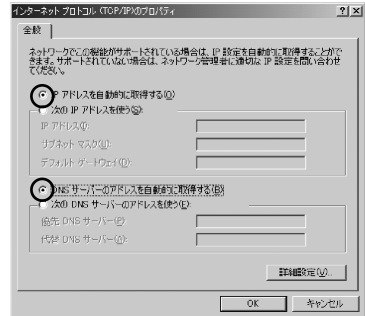
8 [OK] をクリックする

< Windows® 2000 をご利用の場合 >

- 1 [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] を選択する
- 2 [ネットワークとダイヤルアップ接続] アイコンをダブルクリックする
- 3 [ローカルエリア接続] アイコンを右クリックし、[プロパティ] をクリックする
- 4 リストの [インターネットプロトコル (TCP/IP)] を選択し、[プロパティ] をクリックする



- 5 [IP アドレスを自動的に取得] と [DNS サーバのアドレスを自動的に取得する] を選択する



- 6 [OK] をクリックする
- 7 [OK] をクリックする

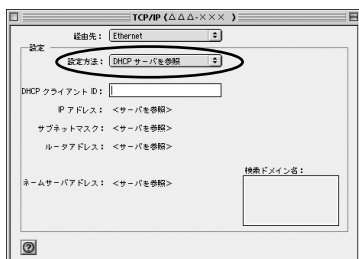
1

お使いになる前に

Mac OS をご利用の場合

< Mac OS 8.x/9.x をご利用の場合 >

- 1 アップルメニューの [コントロールパネル] の [TCP/IP] を開く
- 2 [経路先] を [Ethernet] にする
- 3 [設定方法] を [DHCP サーバを参照] にし、[DHCP クライアントID] と [検索ドメイン名] を空白にし、ウィンドウを閉じる

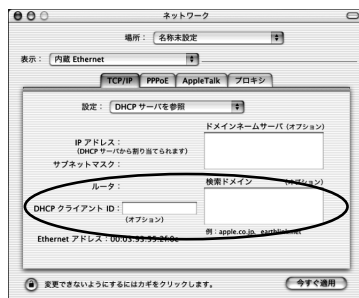


画面は、Mac OS 9.2 を事例に記載したものです。

- 4 確認のダイアログが表示されたら [保存] をクリックする
以上でパソコンのネットワークの設定は完了です。

< Mac OS X をご利用の場合 >

- 1 アップルメニューの [システム環境設定] を開き、[ネットワーク] アイコンを選択する
- 2 [表示] を [内蔵 Ethernet] にし、[設定] を [DHCP サーバを参照] にする
- 3 [DHCP クライアントID] と [検索ドメイン] を空白にする



- 4 [今すぐ適用] をクリックし、ウィンドウを閉じる
以上でパソコンのネットワークの設定は完了です。

WWW ブラウザの設定変更

WWW ブラウザ (Internet Explorer 等) の設定を「ダイヤルアップ接続しない」に変更します。

以下は Windows® XP/Me/2000 Professional/98SE/98 で Internet Explorer 6.0 をご利用の場合の設定方法の一例です。

お客様の使用環境 (プロバイダやソフトウェア等) によっても変わりますので詳細はプロバイダやソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

Internet Explorer のアイコンをダブルクリックして、Internet Explorer を起動します。

[ツール] の [インターネットオプション] を選択します。

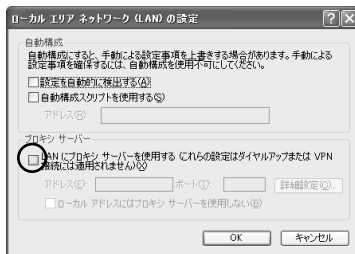
[接続] タブをクリックします。

ダイヤルアップの設定の欄で、[ダイヤルしない] を選択してください。



[LAN の設定] をクリックします。

[LAN にプロキシサーバーを使用する] の をはずします。



(プロバイダからプロキシの設定指示があった場合は、従ってください。)

お知らせ

プロバイダ専用の CD-ROM やパソコンにプリインストールされているサインアッププログラム (プロバイダへの申し込みソフト) は、ダイヤルアップ接続 (モデムやターミナルアダプタの接続) 専用のものがあります。その場合、本商品に LAN 接続されたパソコンからは実行できません。また、専用の接続ソフトが必要なプロバイダにはルータ接続できない場合があります。

プログラムの使用方法等、詳細につきましてはプロバイダやパソコンメーカーにご確認ください。

1

お使いになる前に



2

本商品に接続しよう

この章では、本商品を設置してパソコンを接続するまでを説明しています。

2

2-1	設置する	2-2
2-2	電源を接続する	2-3
2-3	回線を接続する	2-4
2-4	パソコンを接続する	2-6

- Windows® XP は、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および Microsoft® Windows® XP Professional operating system の略です。
- Windows® Me は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system の略です。
- Windows® 2000 は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system の略です。
- Windows® 98 は、Microsoft® Windows® 98 operating system の略です。

2-1 設置する

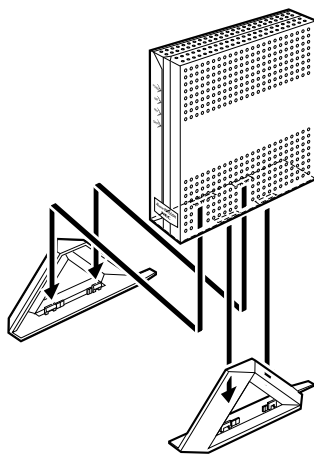
本商品の置き場所を決めよう

本商品には電源、回線、パソコンなどを接続します。ケーブルの長さが決まっているものもあるので、ポイントとなる点をいくつかあげます。

本商品は ADSL モデム / CATV ケーブルモデムのそばに置く
本商品用の電源コンセントはありますか？
本商品用の電源コンセントを確保しましょう。

縦置きスタンドを取り付ける

図のように本商品に縦置きスタンドを取り付けます。



➡ 「2-2 電源を接続する」(☛ P2-3)に進みます。

お願い

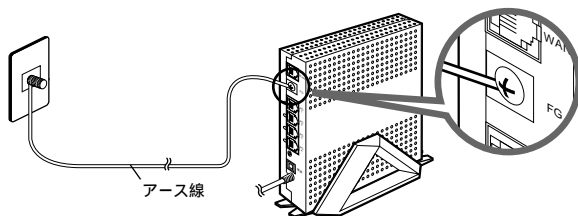
本商品は絶対に横置きに設置しないでください。内部に熱がこもり、破損する可能性があります。また、壁などに近づけて設置しないでください。

縦置きスタンドは放熱のために必要です。必ず取り付けてください。

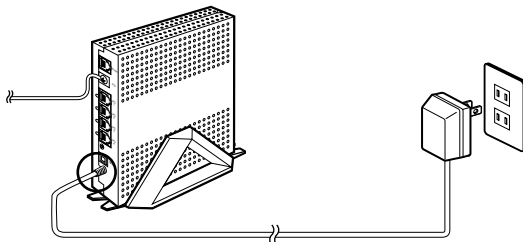
2-2 電源を接続する

アース線と電源をそれぞれ接続します。

- 1 本商品の FG 端子を壁のアース端子に接続する
アース線は添付されていませんので、別途購入してください。
アース線は漏電や落雷などが起こった場合に、人身への傷害や機器の損傷を防止するためのものです。



- 2 本商品の AC アダプタ（電源プラグ）を壁の電源コンセントに接続する



➡ 「2-3 回線を接続する」(← P2-4)に進みます。

2

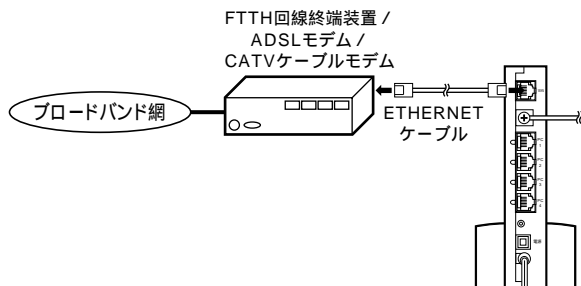
本商品に接続しよ

2-3 回線を接続する

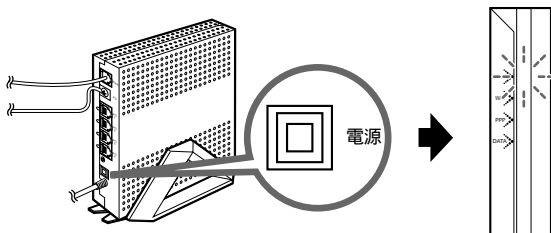
FTTH 回線終端装置 / 外付け ADSL モデム / CATV ケーブルモデムに接続する

本商品に FTTH 回線終端装置 / 外付け ADSL モデム / CATV ケーブルモデムを接続する場合は、次の手順で接続します。

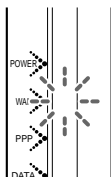
- 1 FTTH 回線終端装置 / ADSL モデム / CATV ケーブルモデムが、回線に正しく接続されていることを確認する
- 2 本商品のブロードバンド接続ポートと FTTH 回線終端装置 / ADSL モデム / CATV ケーブルモデムを ETHERNET ケーブル (ストレート) で接続する



- 3 本商品の電源スイッチを押す
前面の各ランプが点滅したあと、POWER ランプが緑色に点灯します。



- 4 WAN ランプが緑点灯することを確認する
(点灯しない場合は次ページを参照してください。)



「2-4 パソコンを接続する」(P2-6)に進みます。

① WAN ランプが緑点灯しないときは

WAN ランプが緑点灯しないときは、本商品とブロードバンドモデムが正しく接続できていません。次の手順で誤りがないかどうか確認してください。

ETHERNET の接続を確認する

本商品のブロードバンド接続ポートがブロードバンドモデムにETHERNET ケーブル(ストレート)で正しく接続されているか確認してください。

ブロードバンドモデムが回線と正しく接続されていることを確認する

ブロードバンドモデムに直接パソコンを接続して正しく動作することを確認してください。(PPPoE 対応事業者では、この時 PPPoE ソフトウェアをパソコンにインストールして接続設定を行う必要があります。)直接パソコンを接続しても正しく動作しない場合は、ブロードバンドモデムおよび通信回線に問題があります。ご契約の通信事業者にご相談ください。

～ を行っても解決しない場合は、本商品を初期化する

本商品の設定を購入時の状態に戻します。初期化する方法については、「5-2 本商品を初期化する」(☞P5-11)を参照してください。

～ を行っても問題が解決しないときは、本商品が故障している場合があります。最寄りの NEC 保守サービス受付拠点(☞P6-7)へお問い合わせください。

② ブロードバンドモデムの IP アドレスと本商品の IP アドレスが同じときは

ブロードバンドモデムにパソコンを直接接続して、DHCP で取得したパソコンの IP アドレスが、192.168.0.2 ~ 254 となる場合は、ブロードバンドモデムのローカル IP アドレスが本商品と同じです。この場合は、次の手順で本商品の LAN 側 IP アドレスの設定を変更する必要があります。

パソコン接続後、「クイック設定 Web」を起動します。(☞P3-3)

[詳細設定] の をクリックし、[LAN 側設定] を選択します。

[IP アドレス] 欄で IP アドレスを「192.168.2.1」など下から 2 桁を変更します。

[設定] をクリックします。

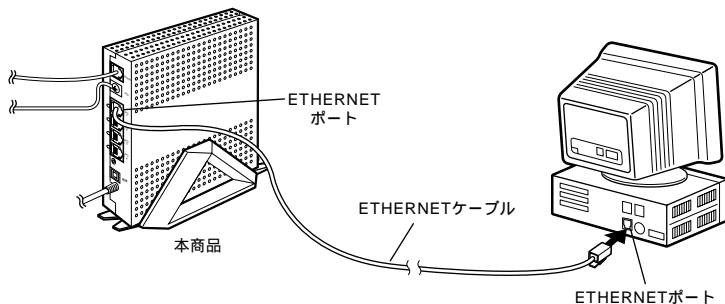
[登録] をクリックします。

パソコンの IP アドレスも変更が必要です。「5-1 トラブルシューティング」を参照して、パソコンの IP アドレスを再取得してください。(☞P5-9)

2-4 パソコンを接続する

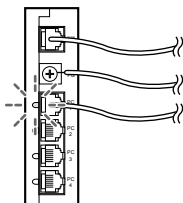
本商品とパソコンを接続します。

- 1 本商品の ETHERNET ポートとパソコンの ETHERNET ポートを ETHERNET ケーブル (ストレート) で接続する



添付ケーブルは 1 本のみです。添付ケーブルをブロードバンドモデムとの接続に使用した場合や 2 台以降のパソコンは、市販の ETHERNET ケーブル (ストレート) をご購入ください。

- 2 ETHERNET ポート状態表示 LED が緑点灯することを確認する



お知らせ

100BASE-TX / 10BASE-T の速度の切り替えは自動的に認識します。手動で切り替える必要はありません。

市販のハブを経由して接続することも可能です。その場合はカスケードポート (アップリンクポート) を持ったハブをご利用いただくか、ETHERNET クロスケーブルをご利用ください。



3

インターネット接続の 設定をしよう

本商品の動作モードを設定して、インターネットに接続します。

3

3-1	本商品の設定をする	3-2
3-2	インターネットに接続する	3-8

- Windows® XP は、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および Microsoft® Windows® XP Professional operating system の略です。
- Windows® Me は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system の略です。
- Windows® 2000 は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system の略です。
- Windows® 98 は、Microsoft® Windows® 98 operating system の略です。

3-1 本商品の設定をする

クイック設定 Web を使って本商品の基本的な設定をします。

セットアップの流れ

本商品を接続してインターネットに接続できるようになるまでの流れを示します。本商品の接続回線によって手順が異なりますので、手順に従って接続設定を行ってください。

接続している回線に合わせて本商品の動作モードを設定します。

回線の種類	接続事業者(例)(敬称略)	本商品の動作モード
FTTH 回線終端装置に接続	NTT 東日本 / 西日本 B フレッツ	PPPoE モード
	東京電力 TEPCO ひかり	
	ケイ・オプティコム eo メガファイバー(ホームタイプ)	
	IP 接続で接続する事業者の場合	
ADSL モデムに接続	NTT 東日本 / 西日本 フレッツ・ADSL	ローカルルータモード
	Yahoo! BB	PPPoE モード
	アッカ・ネットワークス	ローカルルータモード
	イー・アクセス	ローカルルータモード
CATV ケーブルモデムに 接続	—	ローカルルータモード
既存の LAN	—	ローカルルータモード



「イー・アクセス」や「アッカ・ネットワークス」に接続する場合で、ADSL モデムをブリッジモードとして使用する場合は、本商品の動作モードは「PPPoE モード」に設定してご利用ください。

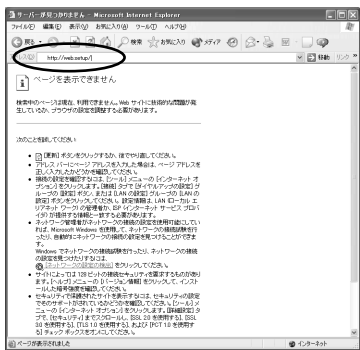
本商品の動作モードに合わせてインターネットの接続先を登録します。

PPPoE モード ➡ P3-5

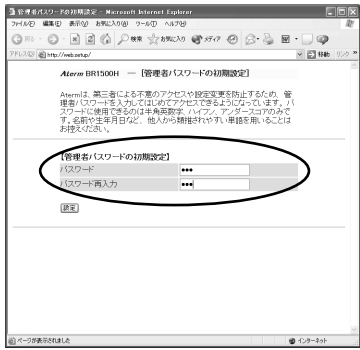
ローカルルータモード ➡ P3-6

クイック設定 Web で本商品の設定をする

- 1 パソコンなどを起動する
- 2 WWW ブラウザを起動し、「http://web.setup/」と入力し、クイック設定 Web のページを開く
本商品の IP アドレスを入力して開くこともできます。
(工場出荷時は 192.168.0.1 です。)
例：http://192.168.0.1/



- 3 管理者用パスワードの初期設定を行う
画面に従ってパスワードを設定してください。



管理者用パスワードは、本商品を設定する場合に必要となりますので、控えておいてください。

管理者用パスワード

パスワードは上記の下線の箇所に記入しておくことをお勧めします。忘れた場合は、本商品を工場出荷状態に戻して設定を初期化してください。(P5-11)

- 4 [設定] をクリックする

- 5 ユーザ名とパスワードを入力する
ユーザ名には「admin」と入力し、パスワードには手順 3 で設定した管理者用パスワードを入力してください。



ユーザ名は、すべて半角小文字で入力してください。

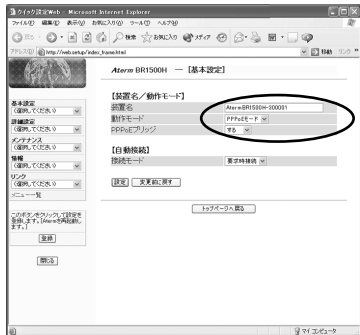
- 6 [OK] をクリックする

- 7 [基本設定] の ▼ をクリックし、[基本設定] を選択する

3 インターネット接続の設定をしよう

8 [装置名]に本商品の名称を入力する

通常はお買い上げ時の設定のままがかまいません。



9 [動作モード]を設定する

接続している回線に合わせて本商品の動作モードを設定します。

回線の種類	動作モード	
ADSLモデムに接続	フレッツ・ADSLなど PPPoEに対応のADSLモデムに接続する場合	[PPPoEモード]
	Yahoo! BBやイー・アクセス、アッカ・ネットワークスなど、ADSLモデムにIP接続する場合	[ローカルルータモード]
CATVケーブルモデムに接続	[ローカルルータモード]	
FTTH・光ファイバなど	Bフレッツなど PPPoE接続	[PPPoEモード]
	IP接続	[ローカルルータモード]
既存のLAN	[ローカルルータモード]	

「イー・アクセス」や「アッカ・ネットワークス」に接続する場合は、ADSLモデムをブリッジモードとして使用する場合は、本商品の動作モードは「PPPoEモード」に設定してご利用ください。

10 接続モードを設定する

[要求時接続]に設定すると、ブラウザなどでインターネットアクセスしたときに接続を開始します。

[常時接続]に設定すると、常に接続します。

11 入力が完了したら、[設定]をクリックする



手順9で設定した動作モードに合わせて次項に進みます。

PPPoEモード ➡ P3-5

ローカルルータモード

➡ P3-6

ここからはお使いのモードに合わせて設定を行ってください。

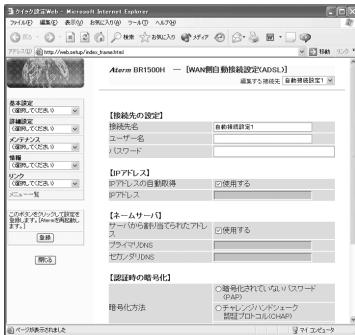
PPPoE モード (☞ 下記)

ローカルルータモード (☞ P3-6)

PPPoE モード接続の場合

ここでは PPPoE モードでインターネットに接続する場合を説明します。

- 1 [基本設定] の ▼ をクリックし、[WAN 側自動接続設定] を選択する
- 2 [編集する接続先] の ▼ をクリックして、接続先を選択する
- 3 プロバイダまたは接続事業者の設定情報を見ながら、設定する



接続先名：

接続先がわかるようにプロバイダの名称を任意に入力します。入力した名称が接続先の名称として本商品に登録されます。

ユーザー名：

接続事業者 / プロバイダの資料に従って「ログインID」(ユーザID) (例：xxxxx@biglobe.ne.jp など) を入力します。

パスワード：

接続事業者 / プロバイダの資料に従ってパスワードを入力します。

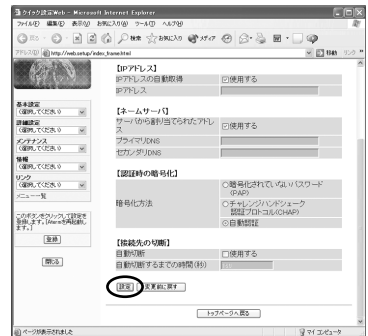
IP アドレス：

通常は [IP アドレスの自動取得] を [使用する] のまま使用します。IP アドレスの自動取得を利用しない場合は、チェックをはずし、入力してください。

ネームサーバ：

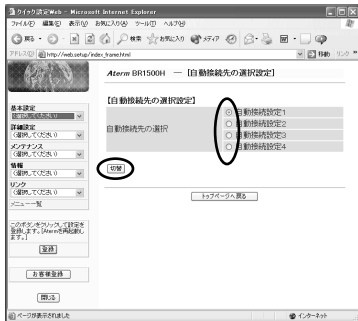
通常は [サーバから割り当てられた IP アドレス] を [使用する] のまま使用します。使用しない場合はチェックをはずし、プライマリDNS、セカンダリDNSを入力してください。

- 4 入力が完了したら、[設定] をクリックする



- 5 [基本設定] の ▼ をクリックし、[自動接続先の選択設定] を選択する

6 手順3で登録した接続先を選択し、[切替]をクリックする



7 [登録]をクリックする 本商品前面の各ランプが点滅して、 本商品が再起動します。



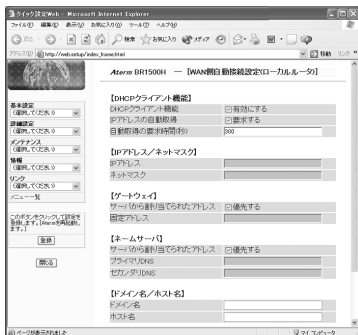
「3-2 インターネットに接続する」(P3-8)に進みます。

ローカルルータモードで接続する場合

ここではローカルルータモードでインターネットに接続する場合の設定方法を説明します。

1 [基本設定]の▼をクリックし、[WAN側自動接続設定]を選択する

2 プロバイダまたは接続事業者の設定情報を見ながら、設定する



DHCPクライアント機能：

本商品のWAN側をブロードバンド通信網のDHCPクライアントとして利用する場合は[DHCPクライアント機能]の[有効にする]を☑します。本商品のWAN側に固定のIPアドレスを指定する場合はチェックをはずしてください。

IPアドレス/ネットマスク：

WAN側に固定IPアドレスを使用する場合(プロバイダまたは接続事業者からIP/ネットマスクを指定されている場合は、本商品のWAN側のIPアドレス、ネットマスクを設定します。

ゲートウェイアドレス：

プロバイダまたは接続事業者からデフォルトのゲートウェイが指定されている場合は、[優先する]のチェックをはずし、本商品のWAN側のゲートウェイアドレスを設定します。

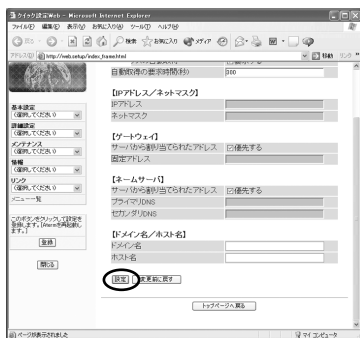
プライマリ/セカンダリDNS：

本商品のWAN側のDNSサーバを設定します(DNSサーバが指定されているときに入力します)。

ドメイン名/ホスト名：

本商品のWAN側のドメイン名、ホスト名を設定します。接続事業者から指定がない場合は空欄のままかまいません。

3 入力が完了したら、[設定] をクリックする



4 [登録] をクリックする

本商品前面の各ランプが点滅して、本商品が再起動します。

設定後、[情報] - [現在の状態] でWAN側IPアドレスの欄が空欄または「0.0.0.0」の場合は、ブロードバンドモデムのIPアドレスが「192.168.0.XXX」になっていることが考えられます。この場合は、本商品のIPアドレスを変更してください。(? 「ブロードバンドモデムのIPアドレスと本商品のIPアドレスが同じときは」 P2-5)

➡ 「3-2 インターネットに接続する」(P3-8)に進みます。

お願い

クイック設定 Web の設定は、[登録] をクリックして本商品を再起動してからでないとは有効になりません。設定が完了してから [登録] をクリックしてください。

? クイック設定 Web が起動しないときには

「5 お困りのときには」を参照してパソコンのIPアドレスが「192.168.0.X」になることを確認してください。(P5-1)

お知らせ

説明に使用している画面表示は、お使いのWWWブラウザやお使いのOSによって異なります。

クイック設定 Web の画面のデザインは変更になることがあります。

PPPoEタイプの外付けADSLモデムを使用する場合、ADSLモデムに付属のユーティリティで設定を行うとパソコンを1台しかインターネットに接続できません。複数台のパソコンを接続する場合はADSLモデムに付属のユーティリティは使用しないでください。本商品のクイック設定 Web で設定をしてください。

3-2 インターネットに接続する

インターネットに接続して接続状態を確認してみましょう。

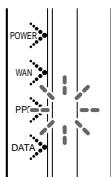
クイック設定 Web で接続設定が完了してから外部のホームページを開くと、自動的に登録された接続先に接続します。

1 WWWブラウザ（Internet Explorer など）を起動する

2 外部のホームページを開く

例）ホームページ Aterm Station：http://121ware.com/aterm/

ADSL（PPPoE）接続でインターネットに接続している場合は、本商品前面の PPP ランプが緑点灯します。



4

本商品を活用しよう

本商品で利用できる各種機能やセキュリティ機能について説明しています。

4-1	本商品で利用できる機能	4-2
4-2	セキュリティ対策をする	4-5
4-3	ネットワーク対応アプリケーション （ネットワークゲームなどを利用する	4-6
4-4	TV電話をする（Windows Messenger を利用する）	4-8
4-5	バージョンアップする	4-9

- Windows® XPは、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および Microsoft® Windows® XP Professional operating system の略です。
- Windows® Meは、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system の略です。
- Windows® 2000は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system の略です。
- Windows® 98は、Microsoft® Windows® 98 operating system の略です。

4-1 本商品で利用できる機能

本商品は次のような機能をご利用になれます。
設定についてはそれぞれの参照先をご覧ください。

セキュリティ対策をしたい		参照ページ
ブロードバンド回線側へのセキュリティ対策	IP パケットフィルタリング ブロードバンド回線側からの IP パケットのアクセスを制限します。	☞ 機能詳細ガイド (HTML ファイル)
	IP マスカレード機能 (アドバンスド NAT) ブロードバンド回線側から本商品に接続したパソコンのプライベート IP アドレスが見えないよう 1 つのグローバル IP アドレスを複数のプライベート IP アドレスに変換します。	☞ 機能詳細ガイド (HTML ファイル)
	不正アクセス検出 外部からの不正なアクセスを監視して、アクセスログに残します。アクセスログを見ることができます。	☞ 機能詳細ガイド (HTML ファイル)
	ダイナミックポートコントロール機能 ローカルネットワーク上のパソコンからのリクエストパケットに応じて、通信開始時に WAN 側ポートを開き、セッション終了時または内部タイマが満了すると自動的に WAN 側ポートを閉じる機能です。	☞ 機能詳細ガイド (HTML ファイル)

ネットワークゲームや、TV 電話などネットワーク対応アプリケーションを利用したい		参照ページ
ポートマッピング	ポートマッピングを設定し、ゲームなどで使用するポートを設定します。	☞ P4-6
シングルユーザアクセスモード	設定する TCP / UDP ポートが不明なときに全ポートを一時的に占有してアプリケーションを利用します。	☞ 機能詳細ガイド (HTML ファイル)
PPPoE ブリッジ機能	PPPoE (PPP over Ethernet) プロトコルを搭載しているパソコンやゲーム機を接続することができます。本商品が PPPoE モードのときに使用することができます。	☞ P4-7
TV 電話を利用する (Windows Messenger)	Windows® XP の "Windows Messenger" サービスなど、UPnP 機能対応アプリケーションを使用して TV 電話などの機能をご利用いただくことができます。	☞ P4-8

ゲーム機と接続したい	参照ページ
インターネット接続ができる状態で、クイック設定 Web ではポートマッピングの設定を行った後、本商品とゲーム機を ETHERNET 接続します。使用するゲーム機やゲームが PPPoE での通信を前提としている場合も「PPPoE ブリッジ機能」で接続可能です。	☞ 機能詳細ガイド (HTML ファイル)

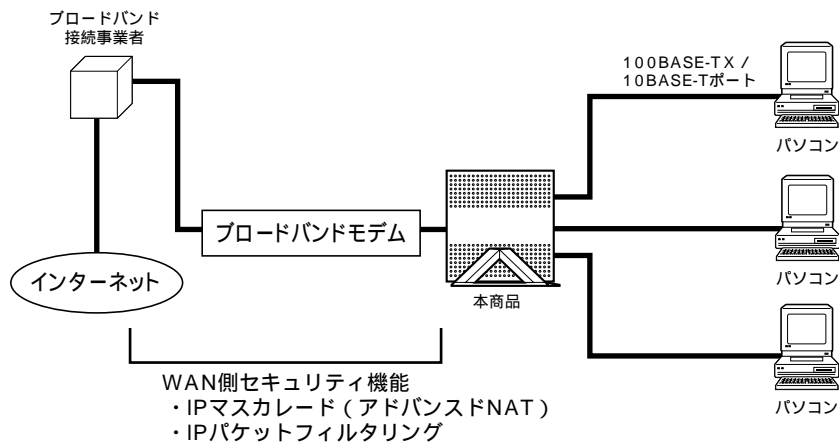
ファイルやプリンタを他のパソコンと共有したい		参照ページ
本商品に接続したパソコン同士でファイルやプリンタを共有できます。(Windows®の共有機能を利用します。)		☞ 機能詳細ガイド (HTML ファイル)
複数のアクセス先を設定したい		参照ページ
複数のプロバイダを切り替えて利用できます。クイック設定 Web で接続先の設定が必要です。		☞ P 3-5
ホームページを公開するなど、外部にサーバを公開したい		参照ページ
アドバンスド NAT オプション (ポートマッピング)	IP アドレスのみをあらかじめ登録した設定テーブルに従って固定的に変換することにより、サーバとして公開するパソコンのプライベート IP アドレスとグローバル IP アドレスをつなぎます。	☞ 機能詳細ガイド (HTML ファイル)
IP パケットフィルタリング	セキュリティ対策などで IP パケットフィルタリングの設定を行っている場合は、サーバとして公開するパソコンへ外部からのアクセスを許可する設定を行います。	☞ 機能詳細ガイド (HTML ファイル)
複数のグローバル固定 IP アドレスを付与するサービスを利用したい		参照ページ
固定 IP アドレス対応 (複数アドレス拡張)	プロバイダから割り当てられた複数のグローバル固定 IP アドレスを、本商品および本商品に接続されたパソコンにそれぞれ設定して、グローバル IP アドレスによるサブネットワークを構築できます。	☞ 機能詳細ガイド (HTML ファイル)
インターネットへの通信を切断したい		参照ページ
接続拒否	インターネット接続を切断し、WAN 側との接続を拒否するようにします。すべてのパソコンからの接続が切断されますのでご注意ください。クイック設定 Web の「情報」 - 「現在の状態」で「接続拒否」をクリックします。	☞ 機能詳細ガイド (HTML ファイル)
無通信監視タイマ	インターネットへのアクセスが一定時間ないときに、通信を切断し、セキュリティを守ります。うっかりした切断忘れを防止できます。	☞ 機能詳細ガイド (HTML ファイル)
インターネット接続を占有したい		参照ページ
シングルユーザアクセスモード	ゲームなどのアプリケーションを利用する場合に設定する TCP / UDP ポートが不明な時や他の人からの相乗りを禁止したい時などに、一時的に全ポートを独占利用できます。	☞ 機能詳細ガイド (HTML ファイル)
SOHO で使用するとき便利な機能		参照ページ
固定 IP アドレス対応 (複数アドレス拡張)	プロバイダから割り当てられた複数のグローバル固定 IP アドレスを、本商品および本商品に接続されたパソコンにそれぞれ設定して、グローバル IP アドレスによるサブネットワークを構築できます。	☞ 機能詳細ガイド (HTML ファイル)

本商品をバージョンアップしたい		参照ページ
<p>ファームウェアを最新のものにバージョンアップすることによって、本商品に新しい機能を追加したり、場合によっては本商品の動作を改善します。</p>		<p>☞ 機能詳細ガイド (HTML ファイル)</p>
本商品の設定を保存したい		参照ページ
<p>現在の本商品の設定内容を保存できます。設定内容をパソコンのハードディスクにバックアップファイルとして保存しておく、保存済みのバックアップファイルから本商品に設定内容を復元することができます。</p>		<p>☞ 機能詳細ガイド (HTML ファイル)</p>
本商品の設定値を工場出荷時の状態に戻したい(初期化したい)		参照ページ
<p>設定値の初期化</p>	<p>本商品の設定内容を工場出荷時の状態に戻します。本商品がうまく動作しない場合や、もう一度初めから本商品を設定したいときにお使いいただけます。</p>	<p>☞ P5-11</p>

4-2 セキュリティ対策をする

セキュリティ機能について

本商品には、ブロードバンド（ADSL/CATV網）からの不正なアクセスを防ぐWAN側のセキュリティ機能があります。必要に応じてセキュリティの設定を行ってください。設定方法については機能詳細ガイド（HTMLファイル）を参照してください。



① セキュリティ対策を行うことの重要性について

インターネットに接続すると、ホームページを閲覧したり、電子メールで情報をやりとりすることができ、とても便利です。しかし、同時に、お使いのパソコンはインターネットからの不正なアクセスの危険にさらされることになります。悪意のあるものから、パソコンやルータに不正にアクセスされることによって、本商品の設定が変更されたり、パソコンのシステムやデータを破壊されることも考えられます。特にインターネットに常時接続したり、サーバなどを公開したりする場合にはその危険性を理解して、必要なセキュリティ対策を行う必要があります。本商品の機能を利用して十分なセキュリティ設定を行ってください。

ネットワーク対応アプリケーション (ネットワークゲームなど)を利用する

ネットワーク対応アプリケーション（ネットワークゲームなど）を利用するには、次の方法があります。

1. ポートマッピングを使う
2. PPPoEブリッジを使う
3. シングルユーザアクセスモードを使う

ここではポートマッピングを使う方法と PPPoEブリッジを使用する方法を説明しています。シングルユーザアクセスモードについては機能詳細ガイドを参照してください。

クイック設定 Web でポートマッピングの設定をする

本商品でネットワーク対応アプリケーションを利用するには、ポートマッピングを設定し、ゲームなどで使用するポートの設定を行う必要があります。

1 パソコンを起動する

2 WWW ブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クイック設定 Web のページを開く

本商品の IP アドレスを入力しても開きます。

(工場出荷時は 192.168.0.1 です。)

3 ユーザ名に [admin] と入力し、パスワードを入力し、[OK] をクリックする

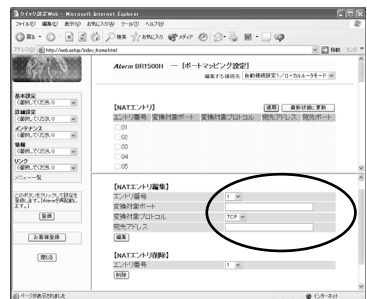
ユーザ名は、すべて半角小文字で入力してください。

4 [詳細設定] の ▼ をクリックし、[ポートマッピング設定] をクリックする

5 [編集する接続先] の ▼ をクリックし、編集する接続先を選択する



6 [NAT エントリ編集] 欄で設定する



[エントリ番号] で空いている番号を選択します。

最大 50 個設定できます。

[変換対象ポート] でポート番号を指定します。

[変換対象プロトコル] で TCP、UDP から選択します。

[宛先アドレス] で上で設定したポートに対して固定的に割りあてられるクライアントパソコンの IP アドレスを入力します。

7 [編集] をクリックする

8 [NAT エントリ] 欄で [最新状態に更新] をクリックする

9 [NAT エントリ] 欄で設定したエントリ番号を にする

10 [NAT エントリ] 欄で [適用] をクリックする

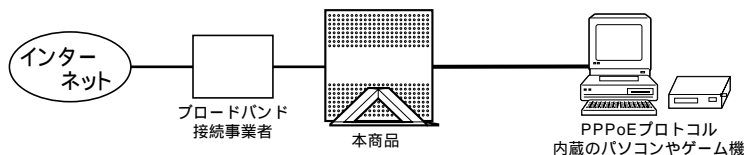
PPPoEブリッジ機能

PPPoE (PPP over Ethernet) プロトコルを搭載しているパソコンやゲーム機などを接続することができます。

本機能を使用した場合、LAN 側に接続されているパソコンやゲーム機のうち同時に使用できるのは 1 台のみです。

本商品が PPPoE モードのときに使用することができます。

本商品の設定は初期値で「使用する」になっています。



PPPoEブリッジ機能でできること

PPPoEブリッジ機能を使うと次のことができるようになります。

- (1) PPPoEブリッジ機能を用いることにより、ご利用のパソコンは、本商品のルータ機能やNAT機能を介さずに、直接本商品に接続しているADSLモデムとPPPoEの処理を行うため、パソコンにグローバルIPアドレスを取得することができます。
- (2) PPPoEの利用が前提となっているインターネット対応のゲーム機(Play Station®2など)を接続できます。
- (3) 「フレッツ接続ツール」をはじめ、Windows®XP標準のPPPoEドライバでも利用できます。

別途 PPPoE 接続用のソフトウェア(フレッツ接続ツール、Windows®XP の PPPoE ドライバ等)が必要です。



お知らせ

PPPoE ドライバやゲーム機での PPPoE 接続の操作方法は、パソコンやゲーム機のサポート窓口でお問い合わせください。

4

本商品を活用しよう

TV 電話をする (Windows Messenger を利用する)

本商品とパソコンの UPnP 機能を利用して、TV 電話をするなど、パソコンの Windows Messenger や MSN Messenger の次の機能をご利用になることができます。

○ : 使用できます。
× : 使用できません。

機能名	Windows Messenger Ver4.6 (Windows® XP をご利用の場合)	MSN Messenger Ver4.6 (Windows® Me をご利用の場合)
電話をかける		
インスタントメッセージ		
ファイル転送		
音声チャット		
ビデオチャット		機能なし
アプリケーション共有		機能なし
ホワイトボード		機能なし
リモートアシスタンス (ファイル転送機能)		機能なし

本商品とパソコン側の設定が必要です。設定方法の詳細については、添付 CD-ROM に収録されている機能詳細ガイド (HTML ファイル) を参照してください。
ただし、本商品の設定は初期値で「使用する」になっていますので、パソコン側で、UPnP の設定をすることで、利用ができます。



お知らせ

UPnP 機能は、Windows® XP または Windows® Me のパソコンでのみご利用になれます。Windows® 95/98/2000/NT4.0 で、MSN Messenger 4.6 をご使用の場合、「電話をかける」、「インスタントメッセージ」はご使用頂けます。
「電話をかける」サービスは、別途 ADSL 接続事業者とご契約が必要です。
フレッツ・ADSL などの PPPoE が使用できる環境では、PPPoE ブリッジを使用することで、1 台のパソコンのみで利用ができます。(☞ P4-7)

4-5 バージョンアップする

ファームウェアを最新のものにバージョンアップすることによって、本商品に新しい機能を追加したり、場合によっては、本商品の動作を改善します。Windows® XPの画面を例に説明します。

[用語] ファームウェア：本商品を動かすソフトウェアのことです。

お願い

バージョンアップ中は絶対に本商品の電源を切らないでください。

お使いの本商品用以外のファームウェアを使ってバージョンアップを行うことはできません。無理にバージョンアップを行うと、本商品が動作しなくなります。

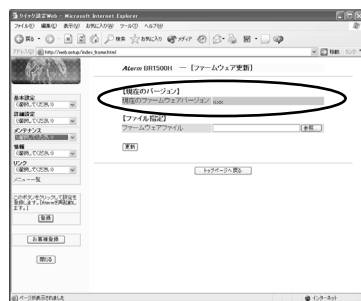
バージョンアップする前に現在の設定値を保存しておくことをお勧めします。設定値の保存方法については、添付 CD-ROM に収録されている「機能詳細ガイド」(HTML ファイル)を参照してください。

Aterm Station からファームウェアをダウンロードする際の通信費は、お客様のご負担となります。

現在のバージョンを確認する

- 1 パソコンを起動する
- 2 WWW ブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クイック設定 Web のページを開く
本商品の IP アドレスを入力しても開きません。
(工場出荷時は 192.168.0.1 です。)
- 3 ユーザ名に [admin] と入力し、パスワードを入力し、[OK] をクリックする
ユーザ名は、すべて半角小文字で入力してください。
- 4 [メンテナンス] の ▼ をクリックし、[ファームウェア更新] をクリックする

- 5 [現在のバージョン] で [確認] する



ファームウェアをバージョンアップする

Aterm Station からダウンロードしてきた最新のファームウェアにバージョンアップします。

1 Aterm Station (<http://121ware.com/aterm/>) にアクセスする

2 バージョンアップの項目からお使いの機種と OS を選択し、[GO] をクリックする

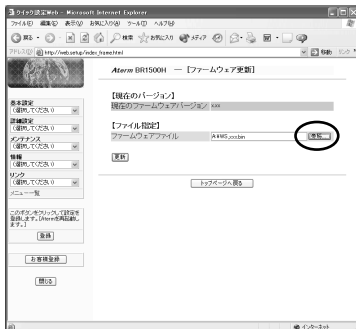
3 内容をよく読んでご利用になるファームウェアをダウンロードする
ダウンロード終了後、ファームウェアが圧縮されている場合は、解凍してください。

4 「<http://web.setup/>」と入力し、クイック設定 Web のページを開く

5 ユーザ名とパスワードを入力し、[OK] をクリックする

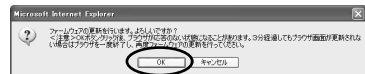
6 [メンテナンス] の ▼ をクリックし、[ファームウェア更新] をクリックする

7 [ファイル指定] で [参照] をクリックし、ダウンロードしたファームウェアのファイルを設定する



8 [更新] をクリックする

9 [OK] をクリックする
POWER ランプがオレンジ色に点灯します。
しばらくすると、クイック設定 Web 画面に「ファームウェア更新中です。1 分ほどお待ちください」と表示されます。手順 10 の画面が表示されるまで本商品の電源は切らないでそのままお待ちください。



(画面は、Windows® XP で Internet Explorer の場合の例です。)

10 [OK] をクリックする
POWER ランプが緑色に点灯していることを確認してください。



? こんなときには

- POWER ランプがずっと赤点減したままになっている -

バージョンアップに失敗しています。その場合には、NEC 保守サービス受付拠点へご連絡ください。修理は、すべて持ち込み修理となります。



5

お困りのときには

本商品がうまく動かない、操作しても違う結果になるなど、お困りのときには本章をお読みください。

5-1	トラブルシューティング	5-2
5-2	本商品を初期化する	5-11

- Windows® XP は、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および Microsoft® Windows® XP Professional operating system の略です。
- Windows® Me は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system の略です。
- Windows® 2000 は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system の略です。
- Windows® 98 は、Microsoft® Windows® 98 operating system の略です。

5-1 トラブルシューティング

トラブルが起きたときや疑問点があるときは、まずこちらをご覧ください。
本書の他に、添付 CD-ROM 収録の電子マニュアル「お困りのときには」で、さまざまな症状と対策方法を記載しております。本章と合わせてご覧ください。(☛P 前文-15)
該当項目がない場合や、対処をしても問題が解決しない場合は、本商品を初期化し(☛P5-11) 初めから設定し直してみてください。初期化を行うと本商品のすべての設定が消去されますのでご注意ください。初期化を行う前に、現在の設定内容を保存しておくことができます。

設置に関するトラブル

どこまで設置、設定できているのか現在の症状をご確認のうえ、その原因と対策をご覧ください。

本商品前面の POWER ランプは点灯していますか？	NG (a 参照)
OK	
本商品前面の WAN ランプは点灯していますか？	NG (b 参照)
OK	
本商品背面の ETHERNET ポート状態表示 LED は点灯していますか？	NG (c 参照)
OK	
パソコンに IP アドレスが設定されていますか？ (確認方法は、5-4 ページを参照してください)	NG (d 参照)
OK	
WWW ブラウザでクイック設定 Web が表示されますか？	NG (e 参照)
OK	
< PPPoE モードの場合 > 設定後、本商品前面の PPP ランプが点灯していますか？	NG (f 参照)
< ローカルルータモードの場合 > クイック設定 Web の [情報] - [現在の状態] - [状態表示] で WAN 側 IP アドレスが表示されていますか？	NG (g 参照)
OK	
インターネットに接続できましたか？	NG (h 参照)

ローカルルータモードの場合は、PPP ランプは点灯しません。

a. 本商品の POWER ランプが点灯しない

症 状	原因と対策
POWER ランプが点灯しない	AC アダプタ（電源プラグ）が壁のコンセントから外れていないか確認してください。 電源スイッチが入っていることを確認してください。 AC アダプタ（電源プラグ）がパソコンの電源に連動したコンセントに差し込まれている場合は、壁などのコンセントに直接接続してください。（パソコンの電源が切れると、本商品に供給されている電源も切れてしまいます。） 電源コードが破損していないか確認してください。破損している場合はすぐに AC アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜き、NEC 保守サービス受付拠点にご相談ください。

b. 本商品前面の WAN ランプが点灯しない

症 状	原因と対策
WAN ランプが点灯しない	本商品とブロードバンドモデム両方の電源が入っていることを確認してください。 ETHERNET ケーブルが本商品とブロードバンドモデム両方に「カチッ」と音がするまで差し込まれているか確認してください。 <本商品に添付されている ETHERNET ケーブル以外のケーブルをご使用の場合> ETHERNET ケーブルがショート、もしくは断線していないか、または規格を満たしているか確認してください。

c. 本商品背面の ETHERNET ポート状態表示 LED が点灯しない

症状	原因と対策
ETHERNET ポート状態表示 LED ランプが点灯しない	<p>本商品とパソコンの両方に電源が入っていることを確認してください。</p> <p>LAN ボードがパソコンに正しく接続/設定されているか確認してください。</p> <p>ETHERNET ケーブルが本商品の ETHERNET ポートとパソコンの両方に「カチッ」と音がするまで差し込まれているか確認してください。</p> <p>パソコンのネットワークの設定が間違っていないかどうか、「パソコンのネットワークの設定」(P1-7)を参照して確認してください。</p> <p>< 本商品に添付されている ETHERNET ケーブル以外のケーブルをご使用の場合 ></p> <p>ETHERNET ケーブルがストレートケーブルであることを確認してください。</p> <p>(HUB を使用して接続する場合は、クロスケーブルで接続するか、HUB のカスケードポートを使用してください。)</p> <p>ETHERNET ケーブルがショート、もしくは断線していないか、または規格を満たしているか確認してください。</p>

d. パソコンに IP アドレスが設定されていない

症状	原因と対策
パソコンの IP アドレスが「192.168.0.XXX」に設定されていない	<p>パソコンの設定で「IP アドレスを自動取得する」もしくは「DHCP サーバを参照」になっていることを確認してください。</p> <p>パソコンの IP アドレスが自動的に設定されるためには、パソコンよりも本商品の方が先に起動されて装置内部の処理が完了している必要があります。下記のどちらかの方法で確認してください。</p> <p>a. パソコンの電源を切り、再度パソコンの電源を入れる 起動後、b の手順で再度パソコンのアドレスを確認する。</p> <p>b. 次の手順で IP アドレスを取り直す</p> <p>< Windows[®] XP の場合 ></p> <p>[スタート] - [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト] をクリックします。</p> <p>「ipconfig /renew」と入力して、[Enter] キーを押します。</p> <p>IP アドレスが「192.168.0.XXX」になることを確認します。</p> <p>< Windows[®] Me/98 の場合 ></p> <p>[スタート] - [ファイル名を指定して実行] をクリックします。</p> <p>「winipcfg」と入力して [OK] をクリックします。</p> <p>Ethernet アダプタ情報のプルダウンウィンドウから、使用している Ethernet アダプタ名を選択します。</p> <p>[解放] をクリックして、IP アドレスが「0.0.0.0」になっていることを確認します。「IP アドレスはすでに解放しています」と表示されたときは [OK] をクリックします。</p> <p>[書き換え] をクリックして、IP アドレスが「192.168.0.XXX」になることを確認します。</p> <p>< Windows[®] 2000 Professional の場合 ></p> <p>[スタート] - [プログラム] - [コマンドプロンプト] をクリックします。</p> <p>「ipconfig /renew」と入力して [Enter] キーを押します。</p> <p>IP アドレスが「192.168.0.XXX」になることを確認します。</p>

e.WWW ブラウザでクイック設定 Web が表示されない

症 状	原因と対策
WWW ブラウザ画面のアドレスに「http://web.setup/」と入力してもクイック設定 Web が表示されない	<p>プロキシの設定をしていませんか。 プロキシの設定をしている場合受付が拒否されます。 Internet Explorer の場合以下の設定を行ってください。 [ツール] - [インターネットオプション] - [接続] - [LAN の設定] の順にクリックします。 [プロキシサーバを使用する] の [詳細] をクリックして、例外に「web.setup」を入れてください。 代わりに IP アドレスを入れても表示できます。 本商品の IP アドレスが工場出荷時の場合は「http://192.168.0.1」です。 IP アドレスを変更している場合は、変更した値を入力してください。 お使いのパソコンにプロキシの設定やファイヤウォール、ウイルスチェック等のソフトがインストールされている場合に、設定ができなかったり通信が正常に行えない場合があります (←P1-6) 。</p>
WWW ブラウザで本商品にアクセスすると、ユーザ名とパスワードを要求される	<p>WWW ブラウザで本商品にアクセスすると、ユーザ名とパスワードを要求されます。 ユーザ名には、[admin] を入力してください。パスワードには、WWW ブラウザで本商品に一番最初にアクセスした際に、登録したパスワードを入力してください。</p>
ページが正常に開けない	<p>Javascript を無効に設定されている。 WWW ブラウザの設定で Javascript を有効に設定してください。</p>
[設定] ボタンを押しても、状態が反映されない	<p>[登録] ボタンを押していない。 各設定項目において、設定ボタンを押しても状態は反映されません。 左側フレーム内の [登録] ボタンを押し、本商品を再起動する必要があります。</p>
[登録] ボタンを押した後、「ページを表示できません」と表示される	<p>本商品が再起動しているためです。 [登録] ボタンを押すと、本商品が再起動するため、「ページが表示できません」と表示されますが、異常ではありません。 WWW ブラウザを終了し、再度、WWW ブラウザを起動してください。</p>

f.PPPoE モードで本商品前面の PPP ランプが点灯しない

症状	原因と対策
PPP ランプが点灯しない	パソコンから WWW ブラウザ等でインターネットにアクセスしてください。 PPPoE モードの場合、インターネットへ通信が開始された時点で PPP ランプが点滅し、しばらくして点灯に変わります。
PPP ランプが速い点滅をしている	ブロードバンドモデムの WAN 側が接続されていることを確認してください。ADSL モデムをご使用の場合、ADSL リンクが確立していることを確認してください。 NEC 製の ADSL モデムをご使用の場合はモデム前面の LINE ランプが点灯します。LINE ランプが点滅している場合は ADSL モデムの取扱説明書を参照して対策してください。 対策後、パソコンから WWW ブラウザ等でインターネットにアクセスしてください。 PPPoE モードの場合、インターネットへ通信が開始された時点で PPP ランプが点滅し、しばらくして点灯に変わります。
PPP ランプが遅い点滅、速い点滅を繰り返している	プロバイダ等から送られてくるユーザ ID、パスワードが正しいことを確認してください。 ユーザ ID、パスワードについてはご契約のプロバイダへお問い合わせください。 ユーザ ID、パスワードが間違っている 一般的に下記が区別されますのでご注意ください。 ユーザ ID (ログイン名) : 半角、全角、大文字、小文字 パスワード : 半角、全角、大文字、小文字 を合わせてください。

g.クイック設定 Web の状態表示で WAN 側 IP アドレスが表示されない

症状	原因と対策
クイック設定 Web の状態表示で WAN 側 IP アドレスが表示されない	ブロードバンドモデムの WAN 側が接続されていることを確認してください。 ADSL モデムをご使用の場合、ADSL リンクが確立していることを確認してください。 他のブロードバンドルータやパソコンに接続していたモデムを本商品に接続し直して通信しようとしている場合、ケーブルモデムの機種によっては、過去に接続したルータやパソコンの MAC アドレスと本商品の MAC アドレスが一致しないと通信できない場合があります。この場合は、ケーブルモデムの電源を一旦切って、電源を入れ直すことで回避できる場合があります。 つなぎ方によっては本商品 WAN 側の IP アドレスが正しく取得できないことがありますので、クイック設定 Web の [情報] - [現在の状態] で [IP の解放] をクリックしてから [IP 取得] をクリックして IP アドレスを更新してください。 CATV 接続事業者によってはドメイン名やホスト名を本商品に入力しないと接続できない場合があります。 接続事業者を確認してクイック設定 Web の [WAN 側自動接続設定 (ローカルルータ)] からドメイン名やホスト名を入力してください。 CATV 接続事業者によってはゲートウェイやネームサーバを本商品に入力しないと接続できない場合があります。 接続事業者を確認してクイック設定 Web の [WAN 側自動接続設定 (ローカルルータ)] からゲートウェイやネームサーバを入力してください。 CATV 接続事業者によっては本商品の MAC アドレスを申請する必要があります。

h. インターネットに接続できない

症 状	原因と対策
ADSL (PPPoE) 接続できない	<p>ユーザIDとパスワードが間違っている。 ADSL インターネット接続のユーザIDは、「*****@biglobe.ne.jp」のように@以下のプロバイダのアドレスまですべて入力するのが一般的です。プロバイダからのユーザIDとパスワードを再確認して正しく設定してください。 使用する本商品の動作モードは正しいですか。 外付けADSLモデムに接続して使用する場合、お使いのADSLモデムによって本商品の動作モードが異なります。あらかじめADSLモデムのタイプを確認してください。 パソコンに、ADSLモデムに添付されていたPPPoE接続専用ソフトを入れたまま、それを使用していませんか。または、Windows® XPのPPPoE機能を使用していませんか。 パソコンのPPPoE機能を使用するとADSLサービスによっては、パソコンを1台しか接続できません。複数のパソコンを同時に接続できるADSLサービスを契約せずに、同時に2台以上接続したい場合は、ADSLモデム用のPPPoE接続専用ソフトウェアをパソコンからアンインストールしたり、Windows® XPのPPPoE機能の使用は止めて、再度、本商品のユーティリティで設定しなおしてください。 フレッツ・ADSL接続後、電源のON/OFFなどで、異常終了した場合、本商品の再起動において、一定時間（最大で5分間程度）接続できない場合があります。一定時間経過後再接続してください。</p>
ADSL (PPPoE) 接続に成功してもホームページが開けない	<p>IPアドレス、ネームサーバアドレスが間違っている。 自動取得できないプロバイダの場合、プロバイダから指定されたIPアドレスやネームサーバアドレスを接続先の設定画面で入力してください。</p>

症 状	原因と対策
DNS サーバアドレスが間違っている	自動取得できないプロバイダの場合は、プロバイダから指定された DNS サーバアドレスをプロバイダからの情報に従って「クイック設定 Web」画面の DNS サーバアドレスの欄に入力してください。
CATV 接続が成功してもホームページが開けない	CATV 接続事業者によってはドメイン名やホスト名を本商品に入力しないと接続できない場合があります。 接続事業者を確認してクイック設定 Web の [WAN 側自動接続設定 (ローカルルータ)] からドメイン名やホスト名を入力してください。 CATV 接続事業者によってはゲートウェイやネームサーバを本商品に入力しないと接続できない場合があります。 接続事業者を確認してクイック設定 Web の [WAN 側自動接続設定 (ローカルルータ)] からゲートウェイやネームサーバを入力してください。
ダイヤルアップ接続のウィンドウが開いてしまう	パソコンのインターネットプロパティの [接続] で [ダイヤルしない] が選択されていることを確認します。 設定方法は P1-11 を参照してください。
外付けルータタイプ ADSL モデムを接続して ADSL 接続できない	WAN 側と LAN 側の IP アドレスが同じになっている。 次の手順で IP アドレスが同じか確認したあとで、LAN 側の IP アドレスを変更します。 IP アドレスを確認します。 WAN 側：クイック設定 Web の [情報] - [現在の状態] で WAN 側 IP アドレスの欄が空欄または「0.0.0.0」の場合は、ブロードバンドモデムの IP アドレスが「192.168.0.XXX」になっていると考えられます。この場合は、本商品の IP アドレスを変更してください。 本商品の IP アドレスを変更します。 クイック設定 Web の [詳細設定] - [LAN 側設定] で IP アドレスを「192.168.2.1」など下から 2 桁目を変更して、[OK] ボタンをクリックします。 パソコンを再起動します。 WAN 側 IP アドレスが正しく設定されていない場合、ブロードバンド接続がエラー終了します。 クイック設定 Web の [情報] - [現在の状態] で [WAN 側 IP アドレス] を確認してください。 IP アドレスが表示されていない場合は、[IP 取得] ボタンを選択し、IP アドレスが正しく表示されていることをご確認ください。 [IP 取得] でも IP アドレスが表示されない場合は、ADSL モデムがエラー表示していないか、または本商品前面の WAN ランプが点灯しているか確認してください。

ご利用開始後のトラブル

症 状	原因と対策
時々通信が切れる	ブロードバンドモデム側のトラブルシューティングをご確認ください。特に ADSL モデムに接続の場合はノイズ環境により左右されます。
途中から通信速度が遅くなった	
通信が切断されることがある	
使用可能状態において突然「IP アドレス 192.168.0.xxx は、ハードウェアのアドレスが...と競合していることが検出されました。」というアドレス競合に関するエラーが表示された	<p>[OK] をクリックして次の手順で IP アドレスを取り直してください。なお、このエラーが表示された場合、もう一台のパソコンで同様のエラーが表示されることがあります。その場合はエラー表示されたすべてのパソコンで下記の手順を行って IP アドレスを再取得してください。</p> <p>< IP アドレスの再取得 ></p> <p>< Windows® XP の場合 ></p> <p>[スタート] - [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト] をクリックします。</p> <p>「ipconfig /renew」を入力して [Enter] キーを押します。</p> <p>IP アドレスが「192.168.0.xxx」になることを確認します。</p> <p>< Windows® Me/98 の場合 ></p> <p>[スタート] - [ファイル名を指定して実行] をクリックします。</p> <p>「winipcfg」を入力して [OK] をクリックします。</p> <p>Ethernet アダプタ情報のプルダウンウィンドウから使用しているアダプタ名を選択します。</p> <p>[解放] をクリックして、IP アドレスが「0.0.0.0」になることを確認します。</p> <p>「IP アドレスはすでに解放しています」と表示されたときは、[OK] をクリックして へ進んでください。</p> <p>[書き換え] をクリックして、IP アドレスが「192.168.0.xxx」になることを確認します。</p> <p>< Windows 2000® Professional の場合 ></p> <p>[スタート] - [プログラム] - [コマンドプロンプト] をクリックします。</p> <p>「ipconfig /renew」を入力して [Enter] キーを押します。</p> <p>IP アドレスが「192.168.0.xxx」になることを確認します。</p> <p>(次ページに続く)</p>

症 状	原因と対策
<p>前回はできたのにインターネット接続ができない (PPPoE モード、ローカルルータモード共通)</p>	<p>本商品の電源を切ったあと、すぐに電源を入れないでください。5 秒以上の間隔をあけてから電源を入れてください。パソコンに IP アドレスが自動的に設定されるためには、パソコンよりも本商品の方が先に電源が立ち上がって装置内部の処理が完了している必要があります。</p> <p>下記のどちらかの方法で確認してください。</p> <p>a. パソコンの電源を切り、再度パソコンの電源を入れる。 起動後、上記を参照して再度パソコンの IP アドレスを確認する。</p> <p>b. 上記の「IP アドレスの再取得」を行ってください。</p>
<p>前回はできたのにインターネット接続ができない (PPPoE モードの場合)</p>	<p>ブロードバンドモデムの電源が入っていることを確認してください。ADSL モデムの場合、ADSL リンクが確立していることを確認してください。</p>
<p>前回はできたのにインターネット接続ができない (ローカルルータモードの場合)</p>	<p>ブロードバンドモデムの電源が入っていることを確認してください。ブロードバンドモデムと本商品の電源投入順序によっては本商品の WAN 側 IP アドレスが正しく取得できないことがありますので、クイック設定 Web の [情報] - [現在の状態] で [IP の解放] をクリックしてから [IP 取得] をクリックして IP アドレスを更新してください。</p>

5-2 本商品を初期化する

初期化とは、本商品に設定した内容を消去して購入時の状態に戻すことをいいます。本商品がうまく動作しない場合や今までとは違う回線に接続し直す場合は、本商品を初期化して初めから設定し直すことをお勧めします。

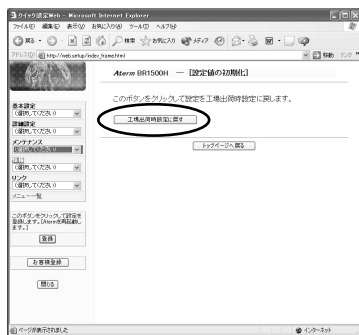
初期化には、以下の方法があります。ご利用しやすい方法で行ってください。

- ・クイック設定 Web で初期化する
- ・イニシャルスイッチで初期化する

クイック設定 Web で初期化する

- 1 パソコンを起動する
- 2 ブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クイック設定 Web のページを開く
本商品の IP アドレスを入力しても開きます。
(工場出荷時は 192.168.0.1 です。)
例：http://192.168.0.1/
- 3 ユーザ名に「admin」と入力し、パスワードを入力し、[OK] をクリックする
ユーザ名は、すべて半角小文字で入力してください。
- 4 [メンテナンス] の ▾ をクリックし、[設定値の初期化] を選択する

- 5 [工場出荷時設定に戻す] をクリックする



- 6 [OK] をクリックする
本商品前面の各ランプが点滅して、本商品が再起動します。

イニシャルスイッチで初期化する

- 1 いったん本商品の電源を切る
- 2 イニシャルスイッチを押しながら電源を入れる（電源 ON 後、POWER ランプが緑点灯し続けるまで押し続ける）
イニシャルスイッチは先の尖ったつまよう枝などで押しください。
これで初期化は完了です。

5

お困りのときは



6

付録

6-1	製品仕様	6-2
6-2	お問い合わせ・アフターサービス	6-4
6-3	用語解説	6-12
6-4	索引	6-14

6

- Windows® XP は、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および Microsoft® Windows® XP Professional operating system の略です。
- Windows® Me は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system の略です。
- Windows® 2000 は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system の略です。
- Windows® 98 は、Microsoft® Windows® 98 operating system の略です。

6-1 製品仕様

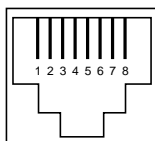
BR1500H仕様

項目		BR1500H	備考
WAN インタ フェース	物理インタ フェース	ブロードバンド用 (100BASE-TX/ 10BASE-T) × 1ポート	
	データ転送速 度	100BASE-TX/10BASE-T : 100Mbps/10Mbps	
	ルーティング プロトコル	IP	
LAN インタ フェース	インタフェース	100BASE-TX/10BASE-T × 4 ポート	
	データ転送速 度	100BASE-TX/10BASE-T : 100Mbps/10Mbps	
	スイッチング HUB	100BASE-TX/10BASE-T 自動 認識 スイッチング方式：ストア&フォ ワード方式 MACアドレス数：1024(自動学習)	フローコントロールは、 全二重：IEEE802.3 × 半二重：バックプレッ シャー
	ルーティング プロトコル	IP	
	呼接続機能	クイック設定 Web による手動接続/ 全切断、自動接続 無通信監視による自動切断	
利用可能端末	PC98-NX、PC-AT 互換機、 Macintosh、"Play Station®2"他	Ethernet が使用可能な 端末	
利用可能 OS	Windows®、Macintosh、Linux など TCP/IP に対応した OS (WWW ブラウザによる設定は、Internet Explorer 4.0 以上 (推奨 5.5 以上)、 Netscape Communicator 4.0 以 上 (推奨 6.1 以上)、Net Front for (デルタ) が対応する機器で可能) ただし、ブラウザによる差分および バージョンによっては、表示等に制 限がある場合があります。		
電源	AC100V ± 10% 50/60Hz	(AC アダプタ)	
消費電力	約 13 W (最大)		
外形寸法	約 (W) 31 x (H) 172 x (D) 172 mm	突起物を除く	
質量	約 0.9 kg	オプションを除く (AC アダプタを含む)	
動作環境	温度 0 ~ 40 湿度 10 ~ 90 %	結露しないこと	

規格による速度を示すもので実行速度は異なります。

BR1500HのETHERNETポートインタフェース

コネクタ形状

ETHERNETポート
(100BASE-TX / 10BASE-T)


ピン番号	略称	機能
1	RD +	受信データ +
2	RD -	受信データ -
3	TD +	送信データ +
4	NC	未使用
5	NC	未使用
6	TD -	送信データ -
7	NC	未使用
8	NC	未使用

ブロードバンド接続ポート

ピン番号	略称	意味
1	TD +	送信データ +
2	TD -	送信データ -
3	RD +	受信データ +
4	NC	未使用
5	NC	未使用
6	RD -	受信データ -
7	NC	未使用
8	NC	未使用


6-2 お問い合わせ・アフターサービス

ご注意 ページ「Aterm Station」


掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されています。
最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読み
ください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

インフォメーションサービス


ご注意 リーンスポットの訪問サポート

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されています。最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。


ご注意 について

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されています。
最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読み
ください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。


ご注意 修理先一覧

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されています。最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。


ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されています。最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。


ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されています。最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されています。最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されています。
最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読み
ください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

6-3 用語解説

本書に出てくる通信・ネットワークに関する用語を中心に解説します。さらに詳しくは、添付のCD-ROM(「ユーティリティ集」)に収録されている「用語解説」を参照してください。

【アルファベット順】

ADSL	Asymmetric Digital Subscriber Line の略。 上り方向と下り方向の通信速度が非対称な高速データ通信で、すでに一般家庭に普及している電話線を使ってインターネットへの高速(下り 1.5 ~ 8Mbps)で安価な常時接続環境を提供する。
AtermStation (エータームステーション)	Aterm 関連の情報を提供する NEC のホームページ。 URL は http://121ware.com/aterm/ (平成 14 年 6 月現在)。
BIGLOBE (ビッグローブ)	NEC が運営しているインターネット接続とパソコン通信のサービスプロバイダ。
bps	bit per second の略。通信速度の基本単位。秒当たりに伝送されるビット数。
CATV	Cable Television の略。ケーブルテレビ。 従来のテレビのようにアンテナで電波を受信するのではなく、通信ケーブルに映像 / 音声をのせるテレビ放送。
DHCP	Dynamic Host Configuration Protocol の略。 コンピュータを TCP/IP ネットワークに接続する際に、IP アドレス等必要な情報を自動的に割り振る方法です。 DHCP クライアント機能は WAN 側から IP アドレスを自動的に取得する機能で、DHCP サーバ機能は LAN 側のパソコンに自動的に IP アドレスを割り当てる機能です。
DNS(Domain Name System)	IP アドレスではなく、ドメイン名による伝送経路選択をする機能です。
FTTH	Fiber To The Home の略で、光ファイバを利用して超高速の通信環境を提供するサービス。 光ファイバでは最大で毎秒 100Mbps のスピードでコンピュータのデータ、映像、音声などの情報を流すことが可能です。
IP アドレス	インターネット接続などの TCP/IP を使ったネットワーク上で、コンピュータなどを識別するための番号。32bit の値をもち、8bit ずつ 10 進法で表した数値を、ピリオドで区切って表現する(例: 192.168.0.10)。
LAN	Local Area Network の略。1 つの建物内などに接続された、複数のパソコンやプリンタなどで構成される小規模なコンピュータネットワーク。
PPP	Point to Point Protocol の略。遠隔地にある 2 台のコンピュータを接続するためのプロトコル。アナログ回線や INS ネット 64 回線を使ってインターネット接続するために使われる。

PPPoA	<p>PPP over ATMの略。高速交換システムで使用されるATM (Asynchronous Transmission Mode) の上でPPP通信を行うための接続方式です。ATM上でダイヤルアップ接続 (PPP接続) と同じように利用者のユーザ名やパスワードのチェックを行います。</p> <p>ADSLでもPPPoEと並び使用される通信方式です。</p>
PPPoE	<p>PPP over ETHERNETの略。ADSLなどの常時接続型サービスで使用されるユーザ認証技術です。ETHERNET上でダイヤルアップ接続 (PPP接続) と同じように利用者のユーザ名やパスワードのチェックを行います。</p>
UPnP	<p>Universal Plug & Play (ユニバーサルプラグアンドプレイ) の略で、XML技術をベースに開発された、ネットワーク機器どうしの相互自動認識方式です。</p> <p>ユニバーサルプラグアンドプレイ(UPnP)とは、デバイスのプラグアンドプレイ(PnP)機能をネットワークに拡張したもので、パソコンからルータなどのネットワーク・デバイスやサービスの検出と制御を可能にするものです。</p>

【あいうえお順】

【あ行】

アップリンクポート	<p>カスケード接続用ポートとも呼びます。100BASE-TX/10BASE-Tの接続の方向を示すもので、インターネットやWANなどの上位ハブを接続する方向をアップリンクといいます。アップリンクがないハブではクロス変換アダプタ/ケーブルを使ったり変換コネクタを使って切り替えます。</p>
-----------	--

【か行】

クライアント	<p>LANなどを構成するコンピュータの中で、主にサーバからの資源やサービス (ファイル/データベース/メール/プリンタなど) を受けるコンピュータ。</p>
--------	---

【さ行】

サーバ	<p>LANなどを構成するコンピュータの中で、主にクライアントに資源やサービス (ファイル/データベース/メール/プリンタなど) を提供するコンピュータ。インターネット上ではWebサーバがホームページ情報を提供する。</p>
-----	--

【は行】

プロトコル	<p>通信規約。システム (コンピュータやネットワーク) 同士が正しく通信できるようにするための約束事。</p>
-------	--

【ら行】

ルータ	<p>複数のネットワークを相互に接続し、データの転送先や経路を選択する装置。</p>
-----	--

6-4 索引

[A ~ Z]

100BASE-TX/10BASE-T	1-4、2-6
ADSL 回線	1-2、1-5、2-4
ADSL モデム	1-2、1-5
B フレッツ	3-2
Aterm Station	1-2、4-10、6-4
CATV 回線	1-2、1-5、2-4
CATV ケーブルモデム	1-2、1-5
CD-ROM	前文-3、前文-15、1-3
DATA ランプ	1-4
DHCP サーバ	1-7
ETHERNET ケーブル	1-3
ETHERNET ポート	1-4、1-6、2-6
ETHERNET ポート状態表示 LED	1-4、2-6
FG 端子	1-4、2-3
FTTH 回線	1-2
FTTH 回線終端装置	1-2、3-2
IP アドレス	1-5
~を自動的に取得する	1-7、3-5
WAN 側 ~ が正しく設定されていない場合	5-8
IP パケットフィルタリング	4-2、4-3、4-5
IP マスカレード (アドバンスド NAT)	4-2、4-5
LAN ポート	1-6
PC クリーンスポット	6-5
POWER ランプ	1-4、2-4、4-10
PPPoE ブリッジ機能	4-2、4-7
PPPoE モード	1-4、3-2、3-4、3-5
PPP ランプ	1-4、3-8
TCP/IP	1-7
TV 電話	4-2、4-8

UPnP 機能	4-8
WAN ランプ	1-4、2-4、2-5
WWW ブラウザ	1-6、1-11、3-8、4-9
Windows Messenger	4-8

[ア行]

アース線	1-4、2-3
アドバンスド NAT	4-5
アフターサービス	6-4
イニシャルスイッチ	1-4
インターネット接続	3-8
インタフェース	6-2
インフォメーションサービス	6-4
お問い合わせ先	6-4

[力行]

回線を接続する	2-4
回線契約	1-5
管理者用パスワード	3-3、3-7
機能詳細ガイド	前文-14
クイック設定 Web	3-3、3-8、4-6、5-11
~で初期化する	5-11
~で設定する	3-3、4-6
グローバル IP アドレス	4-3
購入時の状態に戻す	5-11
固定 IP アドレス対応	4-3

[サ行]

修理先一覧	6-7
修理について	6-6
初期化	4-4、5-11
製品仕様	6-2
シングルユーザアクセスモード	4-2、4-6
セキュリティ機能	4-5
接続拒否	4-3
セットアップの流れ	3-2

[タ行]

ダイヤルアップ接続	1-1 1
縦置きスタンド	2-2
電源を接続する	2-3
電源スイッチ	1-4、2-4
電子マニュアル	前文-15
動作モード	3-2、3-4
トラブルシューティング	5-2

[ラ行]

ローカルルータモード	3-2、3-4、3-6
------------------	-------------

[ナ行]

ネットワークゲーム	4-6
ネットワーク対応アプリケーション	4-6
ネットワークの設定	1-7

[ハ行]

バージョンアップ	4-9
パスワード	1-5、3-3、3-5、4-6、4-9
パソコンの準備	1-6
ハブ	2-6
ファームウェア	4-9、4-10
ファイヤウォール	1-6
不正アクセス検出	4-2
ブロードバンド網	前文-2、1-2
ブロードバンド接続ポート	1-4、2-4
プロキシ	1-1 1
プロバイダ	1-5
訪問サポート	6-5
ポートマッピング	4-2、4-6

[マ行]

無通信監視タイマ	4-3
持ち込み修理先一覧	6-7

[ヤ行]

ユーザID	1-5
ユーザ名	3-3、3-5、4-6、4-9
用語解説	6-1 2

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。


輸出する際の注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり外国の規格などには準拠しておりません。本製品を日本国外で使用された場合、当社はいっさい責任を負いません。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っておりません。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載・無断複写することは禁止されています。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り・記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- (4) 本商品の故障・誤動作・天災・不具合あるいは停電等の外部要因によって通信などの機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損失につきましては、当社はいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- (5) せっかくの機能も不適切な扱いや不測の事態（例えば落雷や漏電など）により故障してしまえば能力を発揮できません。取扱説明書をよくお読みになり、記載されている注意事項を必ずお守りください。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されています。
最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読み
ください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

安心の保守サービス体制

Aterm(エーターム)インフォメーションセンター

この取扱説明書は、エコマーク認定の再生紙を使用しています。

NECアクセステクニカ株式会社
Aterm BR1500H取扱説明書 第1版

ND-23026(J)
第1版
2002年6月